

# Aterm® WR8150N (eo)

## ご利用ガイド

本機器をご使用前に、本書を必ずお読みください。  
また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

うまく接続できないなど、お困りのときのための

**トラブルシューティング**

も記載しています。(→本書 85 ページ～)



技術基準適合認証品

- ・ 本書をお読みになる前に別紙「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
- ・ 「ソフトウェアのご使用条件」は、6 ページに記載されています。添付 CD-ROM を開封する前に必ずお読みください。

AM1-001350-002

# 目次

目次	2
はじめに	3
ソフトウェアのご使用条件	6
本機器に添付の CD-ROM について	8
安全にお使いいただくために必ずお読みください	9
各部の名前	17
本機器を設置する	20
本機器の置き場所を決める	20
本機器を設置する	20
本機器の動作モードについて	23
本機器でできること	24
機能一覧	24
特徴的な機能	25
クイック設定 Web のご利用について	27
クイック設定 Web をご使用になる前に	27
クイック設定 Web の起動のしかた	36
セキュリティ対策をする	37
セキュリティ機能について	37
無線 LAN をご利用になる場合	38
無線 LAN 内蔵パソコンから接続する	41
Windows® のワイヤレスネットワーク接続で設定する場合	42
AirMac 対応のパソコンから接続する場合	65
無線 LAN のセキュリティ対策をする	68
無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する	75
WPS 機能を使用して無線設定する	76
らくらくスタートボタンによる設定	76
PIN 方式による設定	77
ECO モードにする	81
ECO モードでの制限内容	81
ECO モードを起動する	81
ECO モード起動中のランプ状態	82
本機器の初期化	83
RESET スイッチで初期化する	83
クイック設定 Web で初期化する	84
トラブルシューティング	85
設置に関するトラブル	85
無線 LAN に関するトラブル	90
ご利用開始後のトラブル	94
製品仕様	97
ハードウェア仕様	97
確認シート	99
お問い合わせ	102
お問い合わせについて	102
本機器の輸送時のお取り扱いについて	102

# はじめに

本機器をご使用していただくにあたり、下記の内容をご確認ください。

本書に記載の「Aterm WR8150N (eo)」、本機器とは、eo 光無線ルータのことを指します。

- インターネットをご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。
- 電波障害自主規制について  
この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。  
VCCI-B
- 輸出する際の注意事項  
本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し、海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。
- ご注意
  - (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
  - (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
  - (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一、ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
  - (4) 本装置の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
  - (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
  - (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまつては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

## ■電波に関する注意事項

- 本機器は、技術基準適合証明を受けています。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11n (2.4GHz)、IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および、OFDM 方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。



2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す  
DS/OF: DS-SS 方式および OFDM 方式を示す  
4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す  
■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、お問い合わせ先にお問い合わせください。

Aterm は、日本電気株式会社の登録商標です。

らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。

Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows Vista<sup>®</sup> は、Windows Vista<sup>®</sup> Home Basic、Windows Vista<sup>®</sup> Home Premium、Windows Vista<sup>®</sup> Business および Windows Vista<sup>®</sup> Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版の略です。

※本機器の Windows Vista<sup>®</sup> のサポートは、Windows Vista<sup>®</sup> がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカーが Windows Vista<sup>®</sup> の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

Windows<sup>®</sup> 7 は、Windows<sup>®</sup> 7 Starter、Windows<sup>®</sup> 7 Home Premium、Windows<sup>®</sup> 7 Professional、Windows<sup>®</sup> 7 Enterprise および Windows<sup>®</sup> 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版または 64 ビット (x64) 版の略です。

※本機器の Windows<sup>®</sup> 7 のサポートは、Windows<sup>®</sup> 7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカーが Windows<sup>®</sup> 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。

Windows<sup>®</sup> XP は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP Home Edition operating system および Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> XP Professional operating system の略です。

Windows<sup>®</sup> 2000 Professional は、Microsoft<sup>®</sup> Windows<sup>®</sup> 2000 Professional operating system の略です。

Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

AirMac は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Firefox は、米国 Mozilla Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

Opera は、Opera Software ASA の商標または登録商標です。

“プレイステーション” および “PSP” は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

Wii・ニンテンドー DS・ディーエス /DS は、任天堂の登録商標または商標です。

Xbox 360 は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

JavaScript は、米国 Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。

Atheros、XSPAN のロゴは、Atheros Communications, Inc. の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該商標を使用しています。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2010、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2010

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

# ソフトウェアのご使用条件

## お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

本機器に添付の CD-ROM には、NEC が提供するユーティリティソフトウェアが含まれています。NEC が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」にご同意いただく必要がございます。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

## NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「NEC」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るための許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

### 1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1ヶ月以上事前に、NEC 宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) NEC は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記(2)または(3)により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

### 2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続して使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

### 3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
- (2) お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。
- (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

#### 4. 許諾プログラムの移転など

- (1) お客様は、賃貸借、リースその他いかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

#### 5. 逆コンパイルなど

- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

#### 6. 保証の制限

- (1) NEC は、許諾プログラムに関していかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

#### 7. 責任の制限

- (1) NEC はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき NEC が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また NEC が損害賠償責任を負う場合には、NEC の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった本装置のレンタル代金額をもってその上限とします。

#### 8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関わる紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

## 本機器に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「メニュー画面」をよくお読みください。

・無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行うらくらく無線スタート EX (Windows Vista® および Windows® 7/XP (Service Pack 2 または 3) のみ)

### 【ご使用上のご注意】

- 添付の CD-ROM をセットして [自動再生] 画面が表示されたら、[Menu.exe の実行] をクリックしてください。
- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
  - ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) をクリックし、[すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [ファイル名を指定して実行] を選択する  
※ Windows® XP の場合は、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
  - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、[OK] をクリックする  
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q：¥menu.exe)  
また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、「Shift」キーを押しながら CD-ROM をセットします。
- CD-ROM をパソコンから取り出す時には、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。

### CD-ROM の動作環境

#### ● Windows® 動作環境

- Windows Vista® または Windows® 7/XP が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。

#### ● 推奨環境

ハードディスクの空き容量：40MB 以上を推奨

Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ

メモリ容量：Windows Vista® の場合、512MB 以上を推奨

Windows® 7 の場合、1GB 以上を推奨

Windows® XP の場合、256MB 以上を推奨

800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ



### お知らせ

- 表示画面
  - ・ サイズ：800 × 600 ピクセル以上
  - ・ 色：High-Color 以上上記以外の設定でも表示はできますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。
- 「メニュー画面」と「らくらく無線スタート EX」の画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、次の操作で画面を切り替えることができます。
  - ・ Windows®：Alt キーを押しながら、Tab キーを押す

# 安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本機器を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。  
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

## 本書中のマーク説明

-  **警告** :人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
-  **注意** :人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
-  **お願い** :本機器の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

### 図記号の説明

#### ■ 警告・注意を促す記号



発火注意



感電注意

#### ■ 行為を禁止する記号



一般禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止



火気禁止

#### ■ 行為を指示する記号



電源プラグをコンセントから抜け

## 警告

### 電源

- AC100Vの家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。    
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。    
また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本機器のACアダプタは、たこ足配線にしないでください。   
たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

## ⚠ 警 告

- ACアダプタは必ず本機器に添付のものをお使いください。また、本機器に添付のACアダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタにもものをせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本機器添付のACアダプタは日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタは風通しの悪い狭い場所(収納棚や本棚の後ろなど)に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。ACアダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

### こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本機器のACアダプタをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本機器を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本機器のACアダプタをコンセントから抜いてお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。
- 本機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本機器のACアダプタをコンセントから抜いてお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ(芯線の露出・断線など)状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本機器のACアダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、本機器を落としたり破損した場合は、すぐに本機器のACアダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

## 警告

### 禁止事項

- 本機器は家庭用の OA 機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。 
- 本機器を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因となります。   
- めれた手で本機器を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。  

### その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本機器の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。 
- 本機器は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因になることがあります。また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。 
- 本機器のそばに花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。  
- 本機器を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。 
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。   

## ⚠ 注意

### 設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。  
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本機器の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。    

- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。  
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。  
また、本機器の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。 
- 本機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。  
・ 収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む  
・ じゅうたんや布団の上に置く  
・ テーブルクロスなどを掛ける 
- 本機器を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本機器を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本機器の両側は十分なスペースを確保してください。 
- 本機器は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。 
- 本機器は垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。 

## ⚠ 注意

### 電源

- 本機器の電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本機器の電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に1回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本機器の AC アダプタをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本機器の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本機器の使用時や使用直後、AC アダプタは、高温になる場合があり、やけどなどのおそれがありますので注意してください。

### 禁止事項

- 本機器に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- 「つなぎかたガイド」にしたがって接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

## STOP お願い

### 設置場所

- 本機器を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
  - ・ 振動が多い場所
  - ・ 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ・ ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - ・ 高周波雑音を発生する高周波マシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など)
  - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本機器をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本機器と無線 LAN 端末(子機)の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。このような場合は、お互いを 1m 以上離してお使いください。
- 本機器とコードレス電話機や電子レンジ、他のアクセスポイントなど、電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 本機器を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色(色あせ)する場合があります。

### 禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本機器が正常に動作しないことがあります。
- 本機器を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。

## STOP お願い

- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本機器の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

### 日ごろのお手入れ

- 本機器のお手入れをする際は、安全のため必ず AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本機器の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。
- 水滴がついている場合は、乾いた布でふき取ってください。

### その他のご注意

- 通信中に本機器の電源が切れたり、本機器を取り外したりすると、通信ができなくなり、データが壊れることがあります。重要なデータは元データと照合してください。
- 本機器プラスチック部品の一部が、光の具合によってはキズのように見える場合があります。プラスチック製品の製造過程で生じることがありますが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

### 無線 LAN に関する注意

- 最大 300Mbps (規格値) や最大 54Mbps (規格値)、最大 11Mbps (規格値) は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度 (実効値) ではありません。
- 本機器は他社製 IEEE802.11n 準拠製品との相互接続性を保証していません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。

## 無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線 LAN アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる  
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される  
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

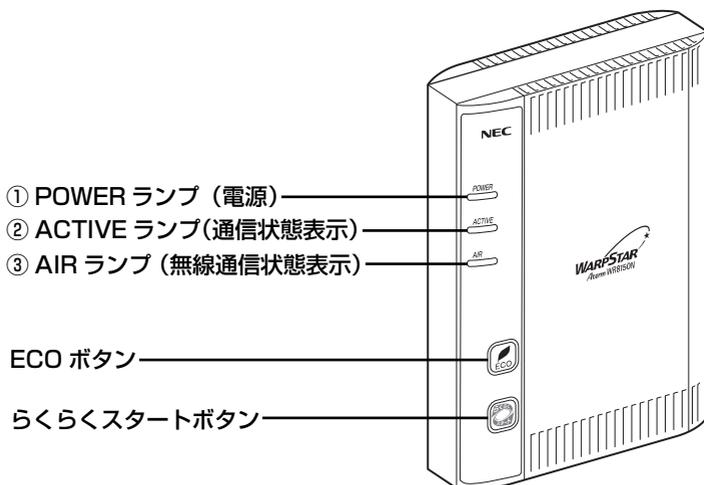
本来、無線 LAN 端末や無線 LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

# 各部の名前

本機器各部の名称および機能を説明します。



## 【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	本機器の状態	
① POWER ランプ (電源)	緑 (点灯)	電源が入っているとき	
	緑 (点滅) / 橙 (点滅)	らくらく無線スタートで設定しているとき	
	緑 (遅い点滅)	ECO モード起動中	
	緑橙 (点滅)	WPS で無線設定中	
	橙 (点灯)		ファームウェアをバージョンアップしているとき (※ 2)
			らくらく無線スタートの設定が完了したとき
			WPS で無線設定が完了したとき
	赤 (点灯)		らくらく無線スタートに失敗したとき
	赤 (点滅)		初期化準備状態のとき
			WPS で無線設定が失敗したとき
消灯		電源が入っていないとき	

(次ページに続く)

ランプの種類	ランプの色 (つきかた)	本機器の状態
② ACTIVE ランプ (通信状態表示) (※ 1)	緑 (点灯)	PPPoE 接続で PPP リンクが確立しているとき
	緑 (遅い点滅)	PPP 認証が失敗したとき (1 秒間隔) (●P88)
	緑 (速い点滅)	PPP 接続で相手からの応答を確認しているとき (●P88)
	橙 (点灯)	「つなぐだけネットスタート」動作中のとき
	橙 (遅い点滅)	ファームウェアをバージョンアップしているとき (※ 2)
	橙 (速い点滅)	「つなぐだけネットスタート」が完了していません
	赤 (点滅)	「つなぐだけネットスタート」に失敗したとき (●P88)
	緑赤 (点滅)	
	消灯	PPP 未接続のとき
③ AIR ランプ (無線通信状態表示) (※ 1)	緑 (点灯)	IEEE802.11g + b (+ n) モードで通信可能なとき
	緑 (速い点滅)	IEEE802.11g + b (+ n) モードでデータ送受信しているとき
	消灯	無線 LAN を使用しない

※ 1 : ECO モード起動中は消灯します。

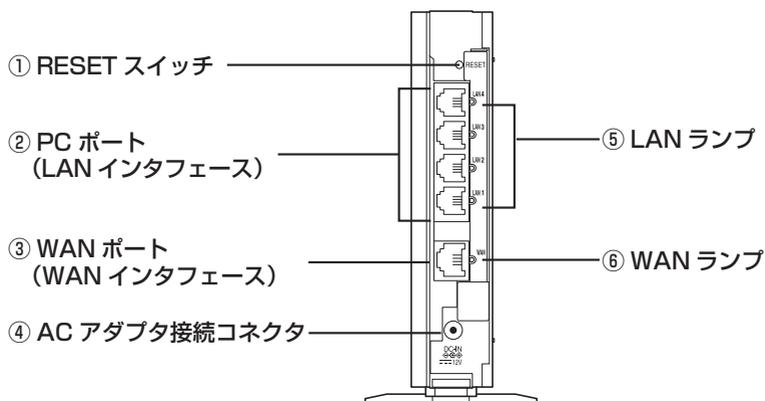
※ 2 : 同時に表示されます。ECO モード起動中も指定の表示となります。

### 【設定ボタン】

名 称	説 明
ECO ボタン (※ 3)	ECO モードに設定するときに使用します。(●P81)
らくらくスタート ボタン	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。 (●「つなぎかたガイド」)

※ 3 : ECO モード起動中は、一部機能が制限されます。(●P81)

## ● 背面図



名称	説明	
① RESET スイッチ	初期化するときに使用します。(●P83)	
② PC ポート (LAN インタフェース)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。	
③ WAN ポート (WAN インタフェース)	回線終端装置/VDSL モデム/情報コンセント (LAN 差し込み口) などと接続します。	
④ AC アダプタ接続コネクタ	WR8150N (eo) 用 AC アダプタを接続します。	
⑤ LAN ランプ (※)	緑 (点灯)	PC ポートのリンクが確立しているとき
	緑 (点滅)	PC ポートがデータ送受信しているとき
	消灯	PC ポートのリンクが確立していないとき
⑥ WAN ランプ (※)	緑 (点灯)	WAN ポートのリンクが確立しているとき
	緑 (点滅)	WAN ポートがデータ送受信しているとき
	消灯	WAN ポートのリンクが確立していないとき

(※) ECO モード起動中は消灯します。

# 本機器を設置する

## 本機器の置き場所を決める

本機器には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

実際の接続は、「つなぎかたガイド」を参照してください。

- 本機器は回線終端装置／VDSL モデム／情報コンセントなどのそばに置く
- 本機器用の電源コンセントはあるか？  
電源コンセントを確保しましょう。
- 無線 LAN 端末（子機）は本機器から無線で電波の届く距離に置く  
設定するときは本機器のそばで設定しましょう。



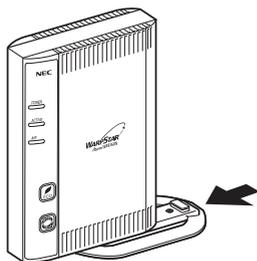
## お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 本機器と無線 LAN 端末（子機）は 1m 以上離してお使いください。
- 近接するアクセスポイントと異なるチャンネルに設定してご利用ください。
- 本機器は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。

## 本機器を設置する

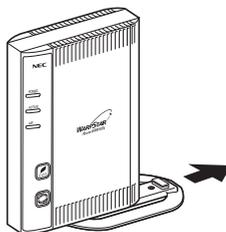
### ■ 縦置きの場合

図のようにスタンドを取り付けます。



### ！ スタンドを外す場合は

図のように、スタンドを矢印の方向にスライドして、取り外してください。

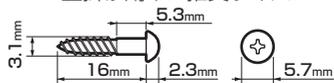


## ■ 壁掛けの場合

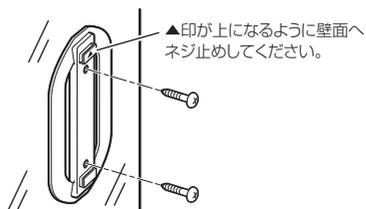


壁掛け用ネジはお客様でご用意ください。

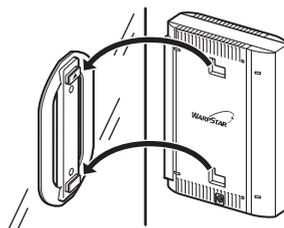
<壁掛け用ネジ推奨サイズ>



- 1 あらかじめ、添付のスタンドを底面が壁側になるように壁掛け用のネジを取り付ける



- 2 図のように取り付ける



## お願い

- 壁掛け設置されているスタンドから取り外す場合は、本機器の両端を持ち、上側に引き上げて取り外してください。
- 壁掛けの際、装置取り付け時は確実に押し込んでください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態で、ケーブルの接続やスイッチの操作などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本機器本体を手で支えながら行ってください。
- 本機器が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。また、衝撃や振動を加えないでください。
- 本機器は垂直面以外の壁や天井などには取り付けしないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。
- 本機器を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本機器を落として破損した場合は、すぐに本機器の AC アダプタをコンセントから抜いて、お問い合わせ先にご連絡ください。
- 本機器は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。

【例】



- 本機器の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。



## お知らせ

- 本機器を壁掛けで使用する場合、同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。

# 本機器の動作モードについて

本機器には、動作モードとして初期モードと運用モードの2つのモードがあります。

## ■初期モード（ACTIVE ランプ：橙（速い点滅））

「つなぐだけネットスタート」による設定環境の自動確認が完了していない状態です。

本モードでは、ルータ機能、無線 LAN 機能、機器設定画面（クイック設定 Web）はご利用になれません。

本機器背面の RESET スイッチ、クイック設定 Web の操作による初期化（▶P83）を実施すると、本モードとなります。

## ■運用モード（ランプ状態は P17 を参照）

「つなぐだけネットスタート」による設定環境の自動確認が完了した状態です。

お客様のサービスご契約内容にそった機能の提供が開始されます。

ご契約内容とランプ状態をご確認ください。

# 本機器でできること

## 機能一覧

本機器の詳細な機能についての説明は、「機能詳細ガイド」(P27)を参照してください。

### 〈機能一覧〉

#### ■ルータ機能■

ブロードバンドルータ機能	アドバンスド NAT (IP マスカレード /NAPT)
ポートマッピング (アドバンスド NAT オプション)	静的ルーティング
DNS ルーティング	IP パケットフィルタリング
ダイナミックポートコントロール機能	DHCP サーバ機能
DNS フォワーディング	不正アクセス検出機能
通信情報ログ (アクセスログ機能)	UPnP 機能
DMZ ホスト機能	

#### ■WAN 側機能■

PPPoE ブリッジ	VPN パススルー機能
------------	-------------

#### ■パソコンインタフェース■

100BASE-TX/10BASE-T スイッチング HUB (4 ポート)

#### ■無線機能■

IEEE802.11n 無線 LAN	デュアルチャネル
IEEE802.11b 無線 LAN	IEEE802.11g 無線 LAN
暗号化	MAC アドレスフィルタリング機能
ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能	ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)
マルチ SSID	ネットワーク分離機能
オートチャネルセレクト	AirMac 対応のパソコンでインターネット接続
らくらく無線スタート機能	らくらく無線スタート EX 機能
WPS 機能	ストリーミングモード

#### ■その他の機能■

管理者パスワードの変更	通信確認 (疎通確認テスト)
情報表示 (装置情報、状態表示)	ECO モード

## 特徴的な機能

### ■ つなぐだけネットスタート

本機器を e0 光ネットの回線に接続して電源を入れるだけで、自動的にインターネットへの接続情報を確認・設定する機能です。よって、従来、インターネット接続サービスの利用の際に必要なであった接続アカウント（認証 ID、認証 ID パスワード）の設定は不要です。

また、「つなぐだけネットスタート」では、本機器の電源 ON/OFF による起動時に最新ファームウェアの有無を確認しており、更新が必要な場合は自動的にバージョンアップが実施されます。このため、お客様ご自身による最新ファームウェアの確認やバージョンアップ作業の実施は不要です。

### ■ らくらく無線スタート

本機器側面のらくらくスタートボタンの操作で、無線 LAN の接続設定（SSID、暗号化キーなどの設定）を簡単に行える機能です。

接続する Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）や無線 LAN 内蔵ゲーム機など、「らくらく無線スタート」に対応していれば「らくらく無線スタート」で設定することができます。

### ■ マルチ SSID 「機能詳細ガイド」(P27)

本機器では、仮想的な 2 つの無線ネットワーク名（プライマリ SSID とセカンダリ SSID）を設け、初期値においてはそれぞれに「AES」と「WEP（128bit）」暗号化を割り当てます。

「AES」が利用できる無線 LAN 端末（子機）と、ニンテンドー DS などのように「WEP」のみの無線 LAN 端末（子機）を同時に使え、さらに、ネットワーク分離機能でプライマリ SSID とセカンダリ SSID を分けることにより、セキュリティ強度の高い「AES」を利用した無線 LAN 端末へのアクセス制限を設定することができます。

「らくらく無線スタート」を使えば、無線 LAN 端末（子機）側の無線 LAN 規格を判別し、適切な暗号化方式で接続設定を自動登録（※ 1）するため、簡単にご利用できます。

※ 1：無線 LAN 端末（子機）側の対応可能な無線 LAN 規格が 11b のみの場合、自動的に WEP が設定された SSID に接続されます。

#### ● プライマリ SSID

（初期値：本機器底面ラベルに記載されている「ネットワーク名（SSID）」、WARPSTAR-xxxxxxx）

暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。（初期値は AES）

AES が設定されている場合、IEEE802.11n による高速通信が利用可能。

## ■ マルチ SSID 「機能詳細ガイド」 (P27)

### ● セカンダリ SSID

(初期値：本機器底面ラベルに記載されている「ネットワーク名 (SSID)」の末尾に「-W」がついたもの、WARPSTAR-xxxxxx-W)

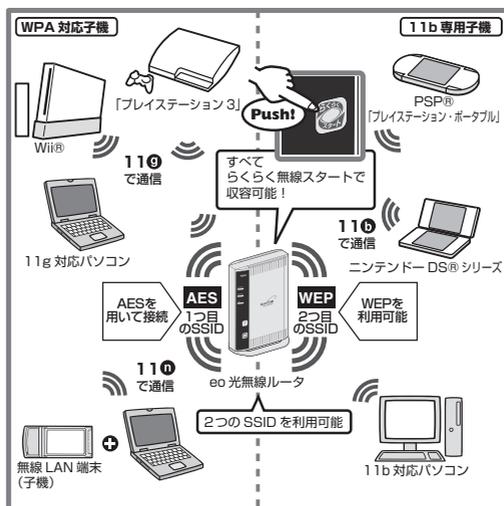
暗号化方式として WEP/TKIP/AES が利用可能。(初期値は 128bitWEP)

AES が設定されている場合、IEEE802.11n による高速通信が利用可能。

※セカンダリ SSID には、本機器お届け時の状態で下記の制限があります。

- ・ クイック設定 Web (P36) に接続できない。
- ・ 本機器に有線 LAN で接続された端末に接続できない。
- ・ 本機器にプライマリ SSID で接続された端末に接続できない。

制限を解除したい場合は、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」の「対象ネットワークを選択」でセカンダリ SSID を選択し、「無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定」で、「ネットワーク分離機能」を「使用しない」に設定してください。(「機能詳細ガイド」(P27))



## ■ ゲーム機を接続する

Wii、ニンテンドー DS、「プレイステーション3」、PSP「プレイステーション・ポータブル」および Xbox 360 などネットワークゲーム機を接続することができます。(P75)

# クイック設定 Web のご利用について

本機器のさまざまな機能をご利用になる場合は、クイック設定 Web (WWW ブラウザ) で設定を行います。(本機器のさまざまな機能については、「機能詳細ガイド」(● 下記) で詳しく説明しています。)

ここでは、クイック設定 Web をご使用になる前の確認事項と起動のしかたについて記載しています。クイック設定 Web の詳しい使い方については、「機能詳細ガイド」の「クイック設定 Web の使い方」をご覧ください。

## ! 機能詳細ガイドについて

「機能詳細ガイド」は、サポートページよりご覧ください。  
(<http://support.eonet.jp/router/>)

## クイック設定 Web をご使用になる前に

クイック設定 Web をご使用になる前に、お使いになるパソコンの WWW ブラウザ (Internet Explorer など) について、以下を確認してください。

## 動作確認済み WWW ブラウザ

- Windows Vista® の場合
  - Internet Explorer 7.0/8.0 に対応
  - Firefox 3.0 に対応
  - Opera 9.64 に対応
- Windows® 7 の場合
  - Internet Explorer 8.0 に対応
- Windows® XP の場合
  - Internet Explorer 7.0/8.0 に対応
  - (Windows® XP Service Pack 2 または 3 の場合)
  - Firefox 3.0 に対応
  - Opera 9.64 に対応
- Windows® 2000 Professional の場合
  - Internet Explorer 6.0 SP1 に対応
  - Firefox 3.0 に対応
  - Opera 9.64 に対応
- Mac OS X v10.3/v10.4/v10.5 の場合
  - Safari 3.2 に対応 (v10.4/v10.5 の場合)
  - Safari 1.3 に対応 (v10.3 の場合)
  - Firefox 3.0 に対応 (v10.4/v10.5 の場合)
  - Opera 9.64 に対応

## ■ ゲーム系

### PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザに対応

- ※ PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、表示モードを標準またはジャストフィットでご利用ください。
- ※ PSP「プレイステーション・ポータブル」本体のインターネットブラウザをお使いの場合は、全角文字の指定できる最大文字数が他のブラウザと異なり、入力できる文字数は最大全角21文字です。
- ※ クイック設定 Web を表示させる場合は、AES の暗号化方式で無線接続してください。らくらく無線スタートで無線接続すると、セカンダリ SSID に接続されるため、クイック設定 Web が表示できませんのでご注意ください。(●P25)

## お願い

- WWW ブラウザでキャッシュを使用しないように設定してください。

### < Internet Explorer 7.0 の場合の設定例 >

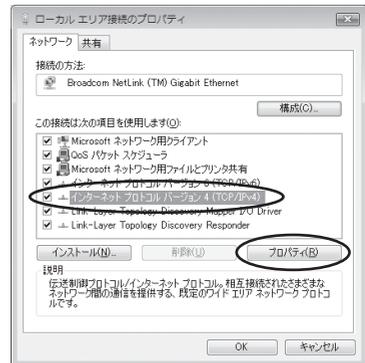
- ① [ツール] - [インターネットオプション] - [閲覧の履歴] - [設定] を開く
- ② [インターネット一時ファイル] 欄の [保存しているページの新しいバージョンの確認] で [Web サイトを表示するたびに確認する] を選択する

## パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、Windows<sup>®</sup> の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

### Windows Vista<sup>®</sup>/Windows<sup>®</sup> 7 の場合

- 1 [スタート] (Windows<sup>®</sup> のロゴボタン) - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックする  
※ Windows<sup>®</sup> 7 の場合は、[ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] をクリックし、[アダプターの設定の変更] をクリックします。
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックする
- 5 [インターネットプロトコルバージョン4(TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



(画面は Windows Vista<sup>®</sup> の例です。)

- 6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [OK] または [閉じる] をクリックする

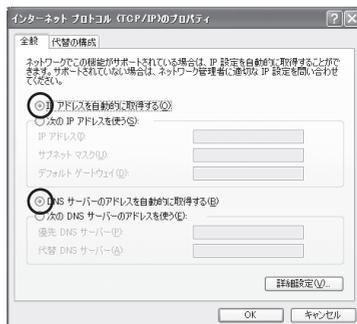


#### お知らせ

- Windows Vista<sup>®</sup>/Windows<sup>®</sup> 7 の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows Vista<sup>®</sup> の通常表示モード (コントロールパネルホーム)、Windows<sup>®</sup> 7 の通常表示モード (カテゴリ表示) を前提に記述しています。

## Windows® XP をご利用の場合

- 1 [スタート] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] または [閉じる] をクリックする



### お知らせ

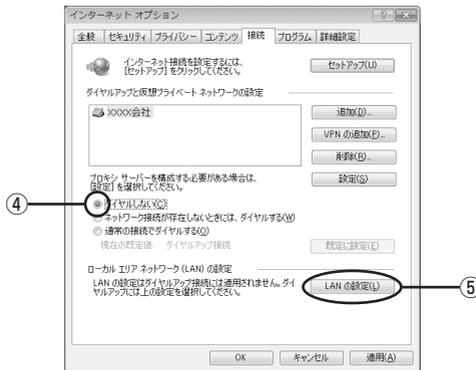
- Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® XP の通常表示モード (カテゴリー表示) を前提に記述しています。

## WWW ブラウザの設定確認

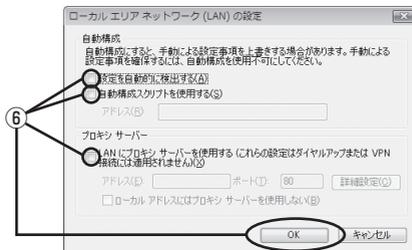
WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

以下は Windows Vista® で Internet Explorer 7.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境（ソフトウェアなど）によっても変わりますので詳細はソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ① Internet Explorer を起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ **ダイヤルアップ** の設定の欄で、**[ダイヤルしない]** を選択する。  
※ グレーアウトしている場合は、⑤にお進みください。



- ⑤ **[LAN の設定]** をクリックする。
- ⑥ **[設定を自動的に検出する]**、**[自動構成スクリプトを使用する]**、**[LAN にプロキシサーバーを使用する]** の  を外して **[OK]** をクリックする。



- ⑦ **[OK]** をクリックする。

## JavaScript の設定を確認する

WWWブラウザ（クイック設定 Web）で設定を行うには JavaScript の設定を有効にする必要があります。

- ※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本機器の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript を「有効にする」に設定してください。

### Windows<sup>®</sup> で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows Vista<sup>®</sup> で Internet Explorer 7.0 を使用している場合の例です。なお、Windows<sup>®</sup> 7/XP/2000 Professional で設定する場合も、下記と同様の手順で設定できます。

1 [スタート] (Windows<sup>®</sup> のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [クラシック表示] (Windows<sup>®</sup> XP の場合は [クラシック表示に切り替える]) – [インターネットオプション] をダブルクリックする

※ Windows<sup>®</sup> 7 で Internet Explorer 8.0 をご利用の場合は、[スタート] (Windows<sup>®</sup> のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [ネットワークとインターネット] – [インターネットオプション] をクリックします。

※ Windows<sup>®</sup> 2000 の場合は、[スタート] – [設定] – [コントロールパネル] – [インターネットオプション] をダブルクリックします。

2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

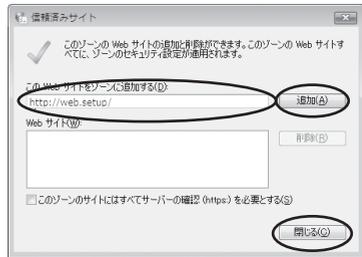
3 [サイト] をクリックする

4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする] のチェックを外す



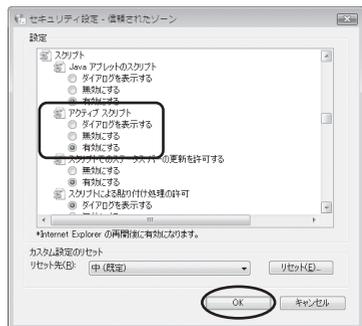
5 【この Web サイトをゾーンに追加する】に「http://web.setup/」を入力し【追加】をクリックし、【閉じる】(Windows® 2000 Professionalで Internet Explorer 6.0 SP1 をご利用の場合は【OK】)をクリックする

※ IP アドレスを入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。  
 (お届け時は 192.168.0.1 です。)  
 例：http://192.168.0.1/  
 IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。



6 【レベルのカスタマイズ】をクリックする

7 画面をスクロールし、【アクティブスクリプト】を【有効にする】に変更し、【OK】をクリックする



8 【OK】をクリックする

## Windows<sup>®</sup> で Firefox をご利用の場合

以下は、Windows Vista<sup>®</sup> で Firefox 3.0 を使用している場合の例です。

- 1 Firefox を起動する
- 2 メニューバーの [ツール] - [オプション] をクリックする
- 3 [コンテンツ] をクリックする
- 4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる
- 5 [OK] をクリックする



Windows<sup>®</sup> で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」(P27)をご覧ください。

## Mac OS で Safari をご利用の場合

以下は、MacOS X v10.4 で Safari 3.2 を使用している場合の例です。

- 1 Safari を起動する
- 2 メニューバーの [Safari] - [環境設定] をクリックする
- 3 [セキュリティ] をクリックする
- 4 [JavaScript を有効にする] にチェックを入れる
- 5 メニューバーの [Safari] から [Safari を終了] をクリックし、Safari を終了させる



Mac OS で Firefox をご利用の場合、または、Mac OS で Opera をご利用の場合の設定方法は「機能詳細ガイド」(P27)をご覧ください。

## クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

設定方法については、ホームページ (http://support.eonet.jp/router/) に掲載されている「機能詳細ガイド」(●P27) の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

クイック設定 Web は初期モードでは使用できません。設定環境を自動的に確認する「つなぐだけネットスタート」(●P25) 実行後、使用してください。

- ① パソコンなどを起動する
- ② WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く



※ 本機器の IP アドレスを入力して開くこともできます。(お届け時は 192.168.0.1 です。) 例: http://192.168.0.1/

- ③ 次の画面が表示された場合は、画面にしたがって管理者パスワード (任意の文字列) を決めて、下の控え欄に記入する

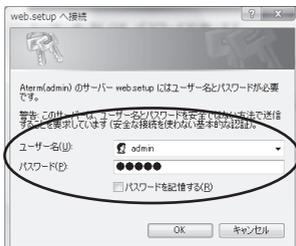
※ この画面は、管理者パスワードが未設定の場合に表示されます。



- 管理者パスワードは、本機器を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。忘れた場合は、設定画面を開くことができず、本機器を初期化してお客様が本機器に行ったすべての設定がやり直しになります。

管理者パスワード控え欄

- ④ ③で控えた管理者パスワードを画面に入力し、[設定] をクリックする
- ⑤ ユーザー名とパスワードを入力する  
※ ユーザー名には「admin」と半角小文字で入力し、パスワードには④で控えた管理者パスワードを入力してください。



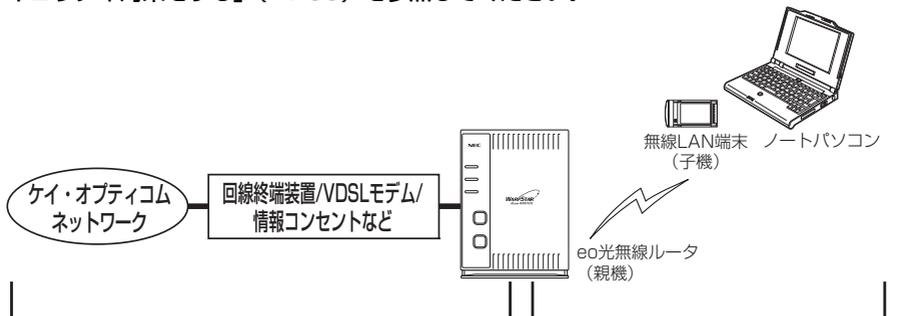
- ⑥ [OK] をクリックする
- ⑦ クイック設定 Web が表示される

# セキュリティ対策をする

## セキュリティ機能について

本機器には、ブロードバンドからの不正なアクセスを防ぐ「WAN 回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

WAN 回線側のセキュリティ対策については、「機能詳細ガイド」(●P27)を参照してください。無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能については、「無線 LAN のセキュリティ対策をする」(●P68)を参照してください。



### WAN 回線側セキュリティ機能

- ・ IP パケットフィルタリング
  - ・ アドバンスド NAT (IP マスカレード / NAPT)
  - ・ 不正アクセス検出機能
  - ・ ダイナミックポートコントロール機能
- 「機能詳細ガイド」(●P27)

### 無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能

- ・ 暗号化※
  - ・ MAC アドレスフィルタリング機能
  - ・ ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)
  - ・ ネットワーク分離機能
- ※ 本機器は、お届け時の状態では、プライマリ SSID 側のネットワークには AES、セカンダリ SSID 側のネットワークには WEP (128bit) の暗号化が設定されます。設定内容 (初期値) は、本体底面の設定ラベルを参照してください。(●P39)

## ? セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることとなります。悪意のある第三者から、パソコンやルータに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ケイ・オプティコムの回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本機器の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。また、ウイルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行うことをお勧めします。
- 無線 LAN 端末 (子機) による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティを行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティがない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてケイ・オプティコムの回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われることがあります。

# 無線 LAN をご利用になる場合

無線 LAN をご利用になるには、本機器の無線設定内容（お届け時は本機器底面に記載）を無線 LAN 端末（子機）側に適用する必要があります。設定方法は、接続する無線 LAN 端末（子機）によって異なりますので、以下で設定方法を確認してください。

お持ちの無線 LAN 端末（子機）はどれですか？

※無線 LAN 端末（子機）がない場合は、別途家電量販店、オンラインショップにてご購入ください。

WPS 機能に対応した無線 LAN 端末（子機）の場合は、「WPS 機能を使用して無線設定する」(●P76)を参照してください。

無線 LAN 内蔵パソコン以外

ニンテンドー DS/Wii/  
PSP「プレイステーション・  
ポータブル」など（「らくらく  
無線スタート」対応機器）

NEC 製 Aterm シリーズ  
無線 LAN 端末（子機）

NEC 製以外  
の無線  
LAN 端末  
（子機）

無線 LAN  
内蔵  
パソコン

「無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する」(●P75)を参照してください。

「らくらく無線スタート」に対応していますか？

※「らくらく無線スタート」対応/非対応については、ホームページ AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>)にてご確認ください。

はい

いいえ

無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書を参照して、「らくらく無線スタート」で設定してください。

「無線 LAN 内蔵パソコンから接続する」(●P41)を参照してください。

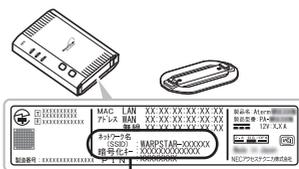
無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照して、本機器底面に記載されている無線設定を無線 LAN 端末（子機）側に設定してください。（次ページ①参照）



本機器底面の無線設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する際は、下記のことにご注意ください。

### 〈ネットワーク名 (SSID)〉

マルチ SSID 機能により、本機器には 2 つのネットワーク名 (SSID) があります。セカンダリ SSID には「-W」が付いています。



お届け時のネットワーク名 (SSID) と暗号化キー

- プライマリ SSID WARPSTAR-XXXXXX (初期値: AES)
- セカンダリ SSID WARPSTAR-XXXXXX-W (初期値: 128bitWEP)

- AES に対応していない無線 LAN 端末（子機）（コンテンドー DS など）は、セカンダリ SSID に接続してください。

### 〈暗号化キー〉

暗号化キーは、パスフレーズ、ネットワークキー、パスワードとも呼ばれています。初期値は、半角英数 13 桁（0～9、A～F を使用）に設定されています。

- アルファベットの大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。（大文字は、シフトキーを押しながら入力します。）
- 「B」（ビー）と「8」（ハチ）を間違えないようご注意ください。なお「O」（オー）は使用していません。
- 暗号化方式が WEP の場合は、下記を参考に設定してください。
  - ・ WEP では OpenSystem 認証を使用しています。
  - ・ キーは自動的に提供されません。また、キーインデックスは「1」となります。
  - ・ IEEE802.1X は使用していません。
  - ・ 桁数が 26 桁の場合は、英数字を 16 進数に読み替えてください。

読み替え方法：

英数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
16 進数	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	41	42	43	44	45	46

読み替え例: 0123456789ABC → 30313233343536373839414243

- 無線 LAN 端末（子機）が AES または WEP（128bit）に対応していない場合や暗号化キーを英数で設定できない場合は、本機器の設定が必要です。下記の方法で本機器の設定を行ってください。
  - ① パソコンを有線で接続する。（☛「つなぎかたガイド」）
  - ② クイック設定 Web を起動する。（☛P36）
  - ③ 「無線 LAN 設定」メニューから「無線 LAN 設定」を選択し、【暗号化】の設定を変更する。（☛P69）

### 本機器は「らくらく無線スタート」対応機種です。

「らくらく無線スタート」とは、本機器側面のらくらくスタートボタンの操作で無線 LAN の接続設定（SSID・暗号化キーなどの設定）を簡単に行える機能です。

接続する無線 LAN 端末（子機）が「らくらく無線スタート」に対応していれば、「らくらく無線スタート」で設定することができます。

設定方法については、「らくらく無線スタート」に対応した無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書をご覧ください。



## お知らせ

- 無線 LAN 端末（子機）は、10 台以下でのご使用をお勧めします。
- 無線 LAN 端末（子機）として使える機器については、サポートページにてご確認ください。  
(<http://support.eonet.jp/router/>)



## Windows<sup>®</sup> のワイヤレスネットワーク接続で設定する場合

無線 LAN 内蔵パソコンが Windows Vista<sup>®</sup> および Windows<sup>®</sup> 7/XP の場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワーク接続」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワーク接続」は、本機器の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP (64bit、128bit、152bit<sup>\*1</sup>)」、「TKIP<sup>\*2</sup>」、「AES<sup>\*2</sup>」の場合に、ご利用いただけます。

- ※ 1： WEP (152bit) は、Windows<sup>®</sup> XP (Service Pack 1 ~ 3) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista<sup>®</sup> および Windows<sup>®</sup> 7 ではご利用いただけません。
- ※ 2： TKIP、AES は、Windows Vista<sup>®</sup> または Windows<sup>®</sup> 7/XP (Service Pack 2 または 3) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書にしたがって無線スイッチを入れ、次の手順で設定してください。

### ① 設定する

「ワイヤレスネットワーク接続」の接続画面で本機器のネットワーク名 (SSID) を選択して接続し、本機器の暗号化キーを入力してください。設定手順は下記を参照してください。

※ 暗号化キーを入力する際は、大文字を小文字で入力すると通信できませんので、ご注意ください。(大文字はシフトキーを押しながら入力します。)

- Windows Vista<sup>®</sup> の場合 (☛P43)
  - Windows<sup>®</sup> 7 の場合 (☛P49)
  - Windows<sup>®</sup> XP (Service Pack 2 または 3) の場合 (☛P56)
  - Windows<sup>®</sup> XP (Service Pack 1) の場合 (☛P60)
- ② 本機器との通信状態を確認する (☛P64)

## Windows Vista® の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。  
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

# 1

 [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [ネットワーク] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックする

※通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

# 2

 接続する本機器のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する

- ・「セキュリティの設定が有効なネットワーク」と表示されている場合  
→ <本機器に暗号化が設定されている場合> (●P44) へ



- ・「セキュリティの設定が有効でないネットワーク」と表示されている場合  
→ <本機器に暗号化が設定されていない場合> (●P45) へ

※お届け時のネットワーク名 (SSID) は、本機器の底面に記載されています。

→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本機器底面ラベルに記載されている「ネットワーク名 (SSID)」の末尾に「-W」がついたものです。)



※接続する本機器のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします] をクリックして「手で設定する場合」(●P46) の手順 2 へ進みます。

## <本機器に暗号化が設定されている場合>

3

### [接続] をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順 1 (●P43) から接続し直してください。



4

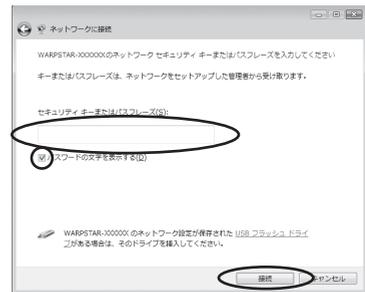
### [セキュリティ キーまたはパスワード] に暗号化キーを入力して、[接続] をクリックする

※「パスワードの文字を表示する」にチェックを入れると、パスワードが確認できます。

※お届け時の暗号化キーは、本機器の底面に記載されています。(●P43)

なお、大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。(大文字はシフトキーを押しながら入力します。)

※本機器の暗号化設定で、暗号化キー番号の 2 ~ 4 番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手動で設定する場合」(●P46) へ進みます。



5

### [閉じる] をクリックする



本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64) で確認してください。

## &lt;本機器に暗号化が設定されていない場合&gt;

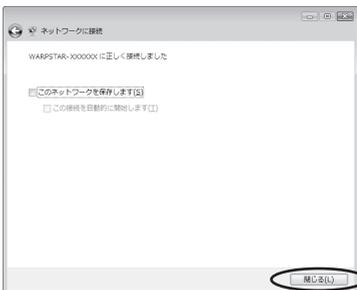
3 [接続] をクリックする



4 [接続します] をクリックする



5 [閉じる] をクリックする



本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(P64)で確認してください。

## ●手動で設定する場合

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) — [ネットワーク] — [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークと共有センター] — [接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

- 2 [ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする

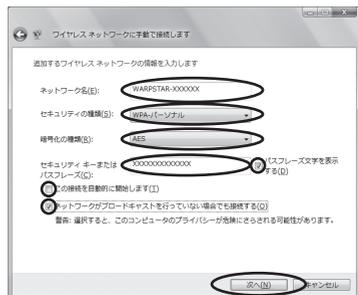


- 3 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※お届け時の暗号化キーは、本機器の底面に記載されています。(P43)

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

- ① [ネットワーク名] で本機器のネットワーク名 (SSID) を入力する



- ② [セキュリティの種類] で [WPA- パーソナル] または [WPA2- パーソナル] を選択する

- ③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する

- ④ [セキュリティ キーまたはパスフレーズ] に本機器の暗号化キーを入力する

※ [パスフレーズ文字を表示する] にチェックを入れると、パスワードが確認できます。  
 ※ 暗号化キーは半角で、8 ~ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。  
 なお、大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。(大文字はシフトキーを押しながら入力します。)

※ 暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8 ~ 63 桁の場合】 英数記号 (0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z, 下記の記号)

!	%	)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[	_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(	,	:	>	]	{	

※ 「\」 (バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64 桁の場合】 16 進数 (0 ~ 9, a ~ f, A ~ F)

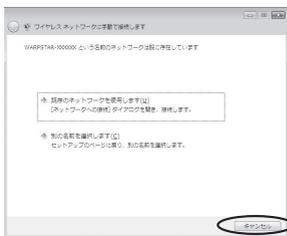
- ⑤ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
- ⑥ 本機器で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
- ⑦ [次へ] をクリックする

## 〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

- ① [ネットワーク名] で本機器のネットワーク名 (SSID) を入力する
- ② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する
- ③ [セキュリティ キーまたはパスフレーズ] に本機器の暗号化キーを入力する  
ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
  - ・ ASCII 文字の場合：
    - 英数字 5 文字：
      - 本機器に 64bitWEP を設定している場合
      - 英数字 13 文字：
        - 本機器に 128bitWEP を設定している場合
    - ・ 16 進数の場合：
      - 0～9・A～F で 10 文字：
        - 本機器に 64bitWEP を設定している場合
        - 0～9・A～F で 26 文字：
          - 本機器に 128bitWEP を設定している場合
    - ④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す
    - ⑤ 本機器で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる
    - ⑥ [次へ] をクリックする

## 4

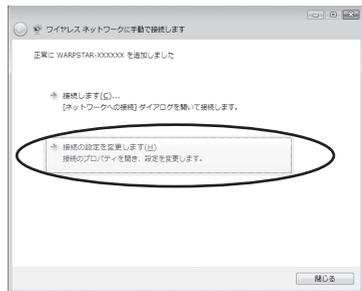
## 【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センター] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [OK] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P46 の手順 1 から接続し直してください。



## 5 [セキュリティ] タブをクリックして 設定内容を確認する

※暗号化モードで WEP を使用する場合は、  
[キーインデックス] で本機器に設定した  
キー番号を選択します。

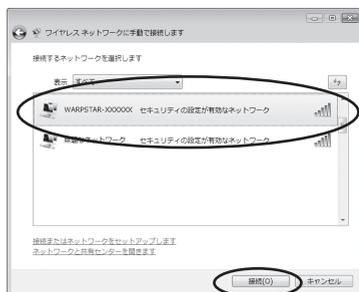


※画面は、暗号化モードで WEP を  
使用する場合の例です。

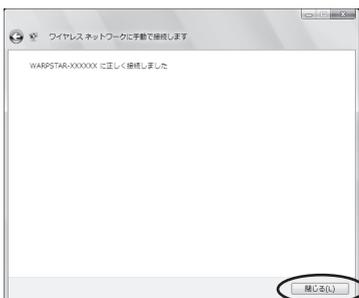
## 6 [OK] をクリックする

## 7 [接続します] をクリックする

## 8 本機器のネットワーク名 (SSID) を 選択し、[接続] をクリックする



## 9 [閉じる] をクリックする



以上で本機器との無線設定は完了です。



本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64)で確認してください。

## Windows® 7 の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit)、TKIP、AES です。  
無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

## 1 通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックする

※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

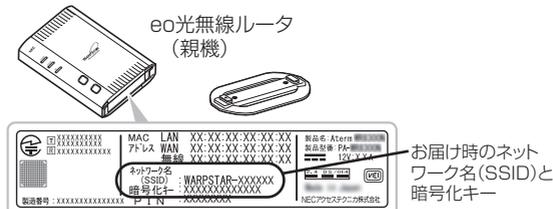
## 2 接続する本機器のネットワーク名 (SSID) にカーソルを合わせ、「セキュリティの種類」の表示を確認する

- ・セキュリティが設定されている場合 (「WEP」、「WPA」、「WPA-PSK」、「WPA2-PSK」など)  
→ <本機器に暗号化が設定されている場合> (●P50) へ
- ・「セキュリティの設定が無効」と表示されている場合  
→ <本機器に暗号化が設定されていない場合> (●P51) へ



※ お届け時のネットワーク名 (SSID) は、本機器の底面に記載されています。

→ WEP のみに対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本機器底面ラベルに記載されている「ネットワーク名 (SSID)」の末尾に「-W」がついたものです。)



※ 接続する本機器のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックして「手で設定する場合」(●P52) の手順 2 へ進みます。

## <本機器に暗号化が設定されている場合>

### 3 接続する本機器のネットワーク名 (SSID) をクリックする



### 4 【接続】をクリックする

※接続に失敗した場合は、[閉じる] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [はい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順 1 (P49) から接続し直してください。

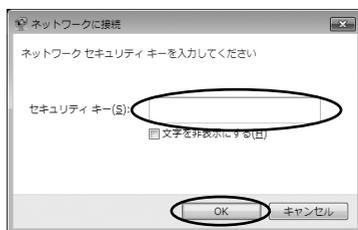


## 5 [セキュリティ キー] に暗号化キーを入力して、[OK] をクリックする

※お届け時の暗号化キーは、本機器の底面に記載されています。(●P49)

なお、大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。(大文字はシフトキーを押しながら入力します。)

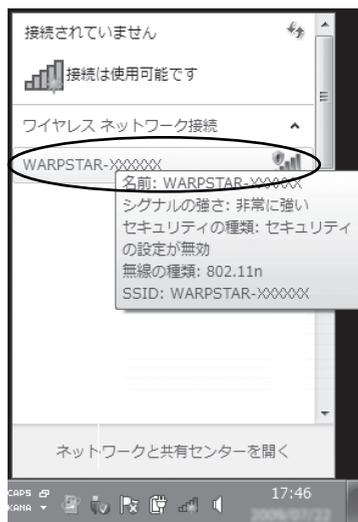
※本機器の暗号化設定で、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手で設定する場合」(●P52) へ進みます。



本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64) で確認してください。

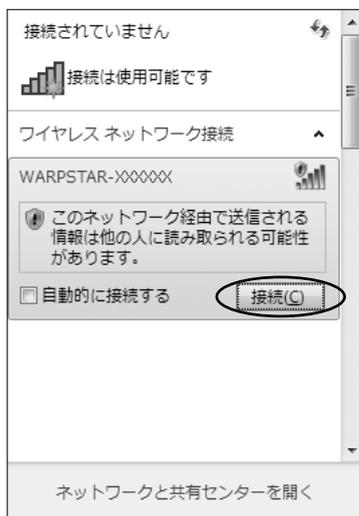
### <本機器に暗号化が設定されていない場合>

## 3 接続する本機器のネットワーク名 (SSID) をクリックする



## 4

## 【接続】をクリックする



本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64)で確認してください。

## ●手動で設定する場合

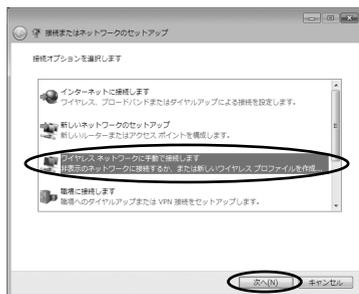
## 1

通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする

※ [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [コントロールパネル] - [ネットワークとインターネット] - [ネットワークと共有センター] - [新しい接続またはネットワークのセットアップ] をクリックする方法もあります。

## 2

[ワイヤレスネットワークに手動で接続します] を選択し、[次へ] をクリックする



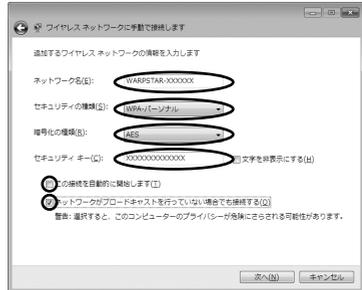
## 3

## 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※お届け時の暗号化キーは、本機器の底面に記載されています。(P49)

## 〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

① [ネットワーク名] で本機器のネットワーク名 (SSID) を入力する



② [セキュリティの種類] で [WPA- パersonal] または [WPA2- パersonal] を選択する

③ [暗号化の種類] で [TKIP] または [AES] を選択する

④ [セキュリティ キー] に本機器の暗号化キーを入力する

※ 暗号化キーは半角で、8～63桁の英数記号または、64桁の16進数で入力します。  
なお、大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。(大文字はシフトキーを押しながら入力します。)

※ 暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

【8～63桁の場合】英数記号 (0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%	)	-	;	@	^	
"	&	*	.	<	[	_	}
#	'	+	/	=	\	`	~
\$	(	,	:	>	]	{	

※ 「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

【64桁の場合】16進数 (0～9、a～f、A～F)

⑤ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す

⑥ 本機器で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる

⑦ [次へ] をクリックする

## 〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

① [ネットワーク名] で本機器のネットワーク名 (SSID) を入力する

② [セキュリティの種類] で [WEP] を選択する

③ [セキュリティ キー] に本機器の暗号化キーを入力する

ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合 :

英数字 5 文字 :

本機器に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字 :

本機器に 128bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合 :

0～9・A～F で 10 文字 :

本機器に 64bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 26 文字 :

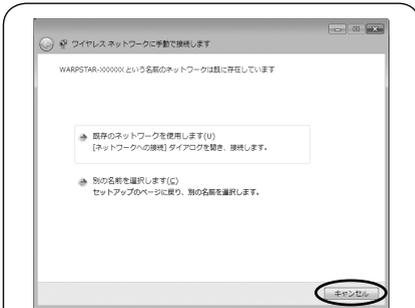
本機器に 128bitWEP を設定している場合

④ [この接続を自動的に開始します] のチェックを外す

⑤ 本機器で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合は、[ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する] のチェックを入れる

⑥ [次へ] をクリックする

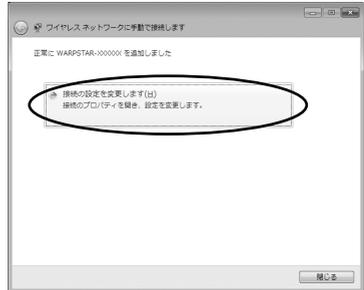
## 【接続の設定を変更します】をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル] をクリックし、下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。

- ① [ネットワークと共有センターを開く] - [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID) をクリックして右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [はい] をクリックする
- ④ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、P52の手順1から接続し直してください。



## 【セキュリティ】タブをクリックして設定内容を確認する

- ※ [パスワードの文字を表示する] にチェックを入れると、パスワードが確認できます。
- ※ 暗号化モードで WEP を使用する場合は、[キーインデックス] で本機器に設定したキー番号を選択します。



※画面は、暗号化モードで WEP を使用する場合の例です。

- 6 [OK] をクリックする
- 7 [閉じる] をクリックする
- 8 通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックして、本機器のネットワーク名（SSID）を選択し、[接続] をクリックする



以上で本機器との無線設定は完了です。



本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64)で確認してください。

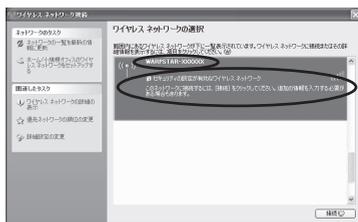
## Windows® XP (Service Pack 2 または 3) の場合

ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit、152bit)、TKIP、AES です。無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。なお下記は、Windows® XP (Service Pack 3) の画面を例に説明しています。

1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

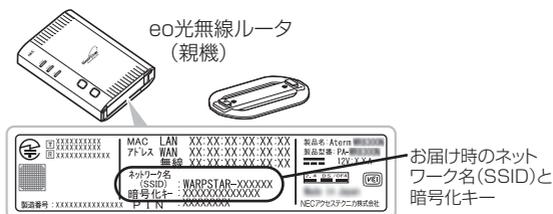


2 接続する本機器のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



- ・「セキュリティの設定が有効なワイヤレスネットワーク」と表示されている場合  
→本機器に暗号化が設定されている場合 (●P57) へ
- ・「セキュリティで保護されていないワイヤレスネットワーク」と表示されている場合  
→本機器に暗号化が設定されていない場合 (●P57) へ

※お届け時のネットワーク名 (SSID) は、本機器の底面に記載されています。  
→ WEP にのみ対応している無線 LAN 端末 (子機) から接続する場合は、セカンダリ SSID に接続してください。(セカンダリ SSID は、本機器底面ラベルに記載されている「ネットワーク名 (SSID)」の末尾に「-W」がついたものです。)



※接続する本機器のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[詳細設定の変更] をクリックして、「手動で設定する場合」の手順 3 (●P58) へ進みます。

それでも接続できない場合には、本機器で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を解除するか、無線 LAN 端末 (子機) 側の設定をサテライトマネージャで行ってください。

## &lt;本機器に暗号化が設定されている場合&gt;

3 【接続】をクリックする

4 【ネットワークキー】に暗号化キーを入力して【接続】をクリックする

※お届け時の暗号化キーは、本機器の底面に記載されています。(●P56)

なお、大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。(大文字はシフトキーを押しながら入力します。)

※本機器の暗号化設定で、暗号化キー番号の2～4番を使用している場合は、[キャンセル]をクリックして、「手で設定する場合」(●P58)へ進みます。

5 パソコン右下の通知領域 (タスクトレイ) で正しく接続されたことを確認する



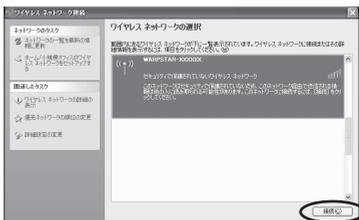
本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64)で確認してください。

## &lt;本機器に暗号化が設定されていない場合&gt;

3 【接続】をクリックする

4 次の画面が表示された場合は、【接続】をクリックする

5 パソコン右下の通知領域 (タスクトレイ) で正しく接続されたことを確認する

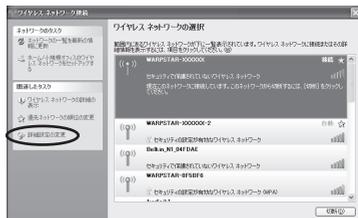


本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64)で確認してください。

## ●手動で設定する場合

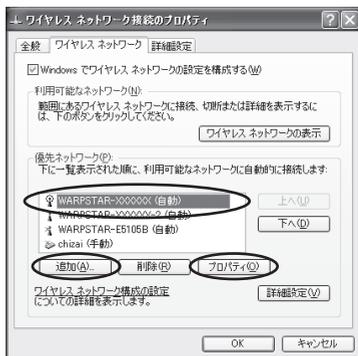
1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

2 [詳細設定の変更] をクリックする



3 [ワイヤレスネットワーク] タブをクリックし、接続する本機器のネットワーク名 (SSID) をクリックして、[プロパティ] をクリックする

※ネットワーク名 (SSID) が表示されていない場合は、[追加] をクリックする



4 表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

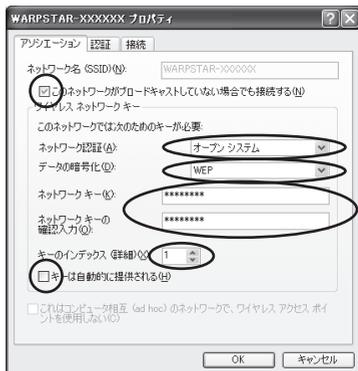
※お届け時の暗号化キーは、本機器の底面に記載されています。(P56)

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

① [ネットワーク認証] で [WPA-PSK] または [WPA2-PSK] を選択する

※ [WPA2-PSK] は、[WPA2-PSK] に対応した無線 LAN 端末 (子機) でのみ選択できます。

② [データの暗号化] で [TKIP] または [AES] を選択する



※画面は、暗号化モードで WEP を使用するの場合の例です。

③ [ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する  
※暗号化キーは半角で、8 ~ 63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します。なお、大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。(大文字はシフトキーを押しながら入力します。)

- ※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。(半角で入力します。)  
 【8～63桁の場合】英数記号(0～9、a～z、A～Z、下記の記号)

!	%	)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[	_	}
#	'	+	/	=	\	`	-
\$	(	,	:	>	]	{	

※「\」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

- 【64桁の場合】16進数(0～9、a～f、A～F)  
 ④本機器でESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する]のチェックを入れる  
 ※Windows® XP (Service Pack 2) でこのチェックボックスがない場合は、本機器でESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)を解除してください。  
 ⑤[OK] をクリックする

#### 〈暗号化モードでWEPを使用する場合〉

- ①[ネットワーク認証] で [オープンシステム] を選択する
- ②[データの暗号化] で [WEP] を選択する
- ③[キーは自動的に提供される] のチェックを外す
- ④[ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する

ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ASCII文字の場合：

英数字5文字：

本機器に64bitWEPを設定している場合

英数字13文字：

本機器に128bitWEPを設定している場合

英数字16文字：

本機器に152bitWEPを設定している場合

・16進数の場合：

0～9・A～Fで10文字：

本機器に64bitWEPを設定している場合

0～9・A～Fで26文字：

本機器に128bitWEPを設定している場合

0～9・A～Fで32文字：

本機器に152bitWEPを設定している場合

- ⑤本機器の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する
- ⑥本機器でESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)を設定している場合は、[このネットワークがブロードキャストしていない場合でも接続する]のチェックを入れる  
 ※Windows® XP (Service Pack 2) でこのチェックボックスがない場合は、本機器でESS-IDステルス機能(SSIDの隠蔽)を解除してください。
- ⑦[OK] をクリックする

## 5

[OK] をクリックする



本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(P64)で確認してください。

## Windows® XP (Service Pack 1) の場合

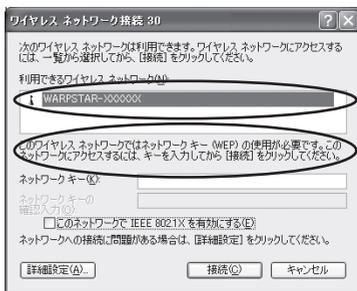
ご利用いただける暗号化モードは、WEP (64bit、128bit、152bit) です。(TKIP、AES はご利用になれません。)

なお、本機器で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) \* を設定している場合は、ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を解除してください。

※ ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) は、本機器独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末 (子機) では、接続できない場合があります。

無線 LAN 内蔵パソコンの無線スイッチを入れてから、下記の手順で設定してください。

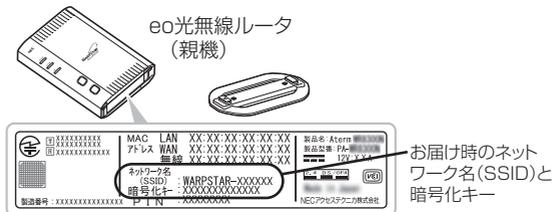
- 1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする
- 2 接続する本機器のネットワーク名 (SSID) をクリックし、セキュリティの設定についての表示を確認する



- ・「このワイヤレス ネットワークではネットワークキー (WEP) の使用が必要です。」と表示されている場合  
→ <本機器に暗号化が設定されている場合> (●P61) へ
- ・「 このワイヤレス ネットワークはセキュリティで保護されていません。」と表示されている場合  
→ <本機器に暗号化が設定されていない場合> (●P62) へ

※ Windows® XP (Service Pack 1) は、WEP にのみ対応しておりますので、ネットワーク名 (SSID) はセカンダリ SSID \* を選択してください。

\* お届け時のセカンダリ SSID は、本機器底面に記載されているネットワーク名 (SSID) の末尾に「-W」がついたものです。(暗号化方式は 128bit WEP です。)



- ※接続する本機器のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[詳細設定] をクリックして「手で設定する場合」の手順 3 (●P63) へ進みます。  
それでも接続できない場合には、本機器で ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) を解除してください。

### <本機器に暗号化が設定されている場合>

#### 3 [ネットワークキー] に暗号化キーを入力して [接続] をクリックする

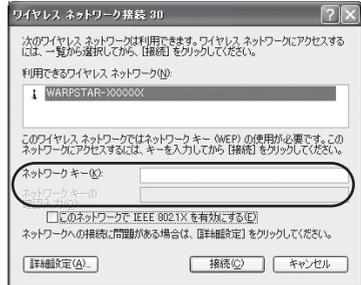
- ※ [このネットワークで IEEE802.11x を有効にする] のチェック (□) は必ず外してください。

- ※お届け時の暗号化キーは、本機器の底面に記載されています。(●P60)

なお、大文字 (ABCDEF) と小文字 (abcdef) は区別されます。(大文字はシフトキーを押しながら入力します。)

- ※本機器の暗号化設定で、暗号化キー番号の 2～4 番を使用している場合は、[キャンセル] をクリックして、「手で設定する場合」(●P62) へ進みます。

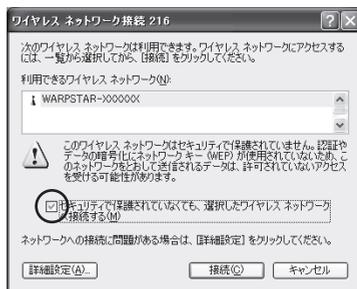
#### 4 パソコン右下の通知領域 (タスクトレイ) で正しく接続されたことを確認する



- 本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64) で確認してください。

## <本機器に暗号化が設定されていない場合>

- 3 [セキュリティで保護されていないとしても、選択したワイヤレス ネットワークへ接続する] にチェックを入れる



- 4 [接続] をクリックする

- 5 パソコン右下の通知領域 (タスクトレイ) で正しく接続されたことを確認する

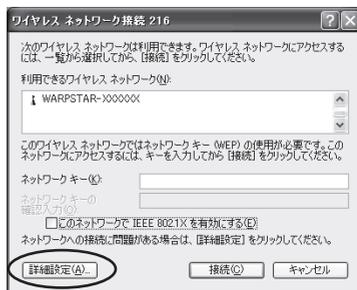


本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64)で確認してください。

## ●手動で設定する場合

- 1 パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示] をクリックする

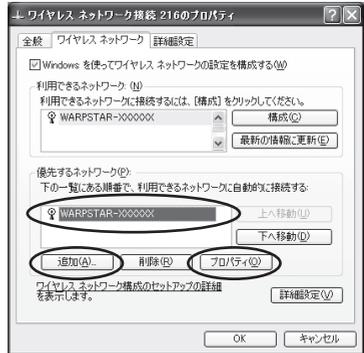
- 2 [詳細設定] をクリックする



3

[ワイヤレスネットワーク] タブをクリックし、接続する本機器のネットワーク名 (SSID) をクリックして、[プロパティ] をクリックする

※ネットワーク名 (SSID) が表示されていない場合は、[追加] をクリックする



4

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※本機器と同じ暗号化キーを入力してください。(●P60)

① [データの暗号化] にチェックする

(画面に [ネットワークアソシエーション]・[データの暗号化] の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する)

② [キーは自動的に提供される] のチェックを外す



③ [ネットワークキー] を入力し、同じものを [ネットワークキーの確認入力] に再入力する

ASCII 文字 / 16 進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

・ ASCII 文字の場合：

英数字 5 文字：

本機器に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：

本機器に 128bitWEP を設定している場合

英数字 16 文字：

本機器に 152bitWEP を設定している場合

・ 16 進数の場合：

0 ~ 9・A ~ F で 10 文字：

本機器に 64bitWEP を設定している場合

0 ~ 9・A ~ F で 26 文字：

本機器に 128bitWEP を設定している場合

0 ~ 9・A ~ F で 32 文字：

本機器に 152bitWEP を設定している場合

④ 本機器の暗号化キー番号の設定に合わせてキーのインデックス番号を選択する

⑤ [OK] をクリックする



本機器との通信状態は、「本機器との通信状態を確認するには」(●P64)で確認してください。

## 本機器との通信状態を確認するには

次の手順で通信状態を確認できます。

### 1 [スタート] (Windows® ロゴボタン) – [ネットワーク] – [ネットワークと共有センター] をクリックする

※通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワーク] をクリックする方法もあります。

※ Windows® 7 の場合は、通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンをクリックし、[ネットワークと共有センターを開く] をクリックします。

※ Windows® XP の場合は、通知領域 (タスクトレイ) に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックします。

### 2 [状態の表示] をクリックする

※ Windows® 7 の場合は、「ワイヤレスネットワーク接続」をクリックします。

※ Windows® XP の場合は、[状態] をクリックし、[全般] タブをクリックします。



### 3 無線設定が正しく行われていることを確認する

・ [状態] が「有効」になっていること (Windows® XP の場合は、[接続] になっていること)

・ [速度] が表示されていること (表示される速度は、接続する無線動作モードによって異なります。)



※画面は Windows Vista® の場合の例です。

### 4 [閉じる] をクリックする

## AirMac 対応のパソコンから接続する場合

画面表示は Mac OS のバージョンなどにより、変わることがあります。

- Mac OS X 10.6/Mac OS X 10.5 の場合 (● 下記)
- Mac OS X 10.4 の場合 (● P66)

## Mac OS X 10.6/Mac OS X 10.5 の場合

画面は Mac OS X 10.6 を例に説明しています。なお、Mac OS X 10.5 で設定する場合も、下記と同様の手順で設定ができます。

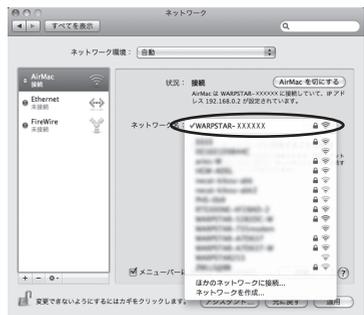
1 アップルメニューの [システム環境設定] - [ネットワーク] を開く

2 サービスリストから [AirMac] を選択する

3 [ネットワーク名] のプルダウンメニューで本機器のネットワーク名 (SSID) を選択する

※ネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、直接手入力します。

※本機器のお届け時のネットワーク名 (SSID) は、本機器の底面のラベルに記載されています。



🔊 お知らせ

- ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) が有効となっている場合は、本機器のネットワーク名 (SSID) が表示されません。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) は無効にしてください。

4 [パスワード入力] のポップアップ画面の [パスワード] に本機器の暗号化キー (本機器底面に記載) を入力して、[OK] をクリックする



(本機器の無線の暗号化が WPA-PSK の場合の例です。)

## 5

## 【適用】 をクリックする



## Mac OS X 10.4 の場合

1 アップルメニューの [システム環境設定] - [ネットワーク] アイコンをクリックする

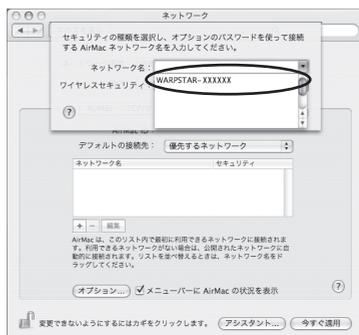
2 [表示] を [AirMac] にして、[AirMac] タブをクリックする

3 [デフォルトの接続先] を [優先するネットワーク] にする

4 **+** をクリックする

5 [ネットワーク名] のプルダウンメニューで本機器のネットワーク名 (SSID) を選択する

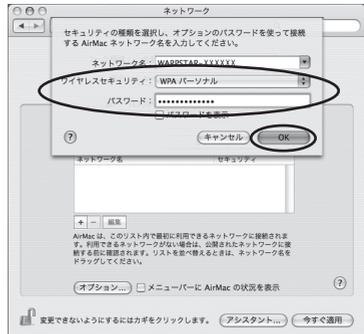
※本機器のお届け時のネットワーク名 (SSID) は、本機器の底面のラベルに記載されています。


 お知らせ

- ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) が有効となっている場合は、本機器のネットワーク名 (SSID) が表示されません。ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) は無効にしてください。

6

【ワイヤレスセキュリティ】で【WPA パーソナル】を選択し、【パスワード】で本機器の暗号化キー（本機器底面に記載）を入力して、【OK】をクリックする

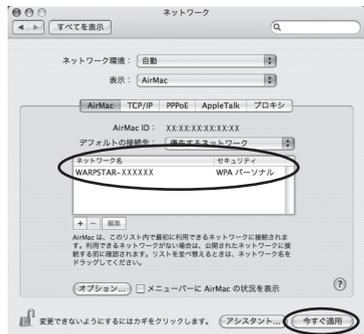


（本機器の無線の暗号化が WPA-PSK の場合の例です。）

7

【今すぐ適用】をクリックする

※他のネットワーク名（SSID）がリストの一番上に表示されている場合は、本機器のネットワーク名（SSID）をリストの一番上にドラッグしてから、【今すぐ適用】をクリックしてください。



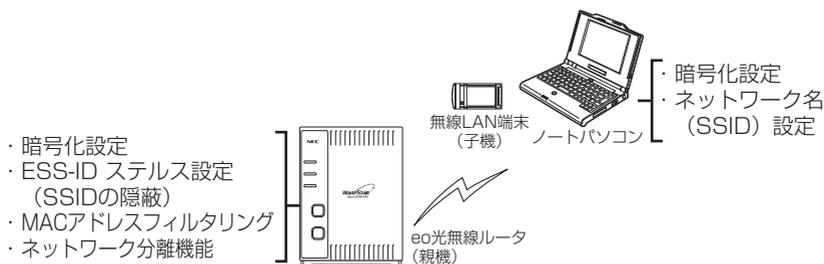
8

画面を閉じる

## 無線 LAN のセキュリティ対策をする

### 他の無線 LAN パソコンから本機器に接続できないようにする

本機器は、他の無線 LAN パソコンから本機器や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、無線データの暗号化機能、ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)、MAC アドレスフィルタリング機能、ネットワーク分離機能を搭載しています。無線 LAN 端末 (子機) が複数台ある場合は、それぞれの無線 LAN 端末 (子機) についてセキュリティの設定を行う必要があります。



### ■無線暗号化

ユーザーが指定した任意の文字列 (暗号化キー) を本機器と無線 LAN 端末 (子機) に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

#### <暗号化方式について>

#### ● WEP (Wired Equivalent Privacy)

IEEE802.11 で定められた暗号化方式。

#### ● TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

Wi-Fi Alliance の新セキュリティプロトコル (WPA) に採用の暗号化方式。

パケットごとに暗号化キー (WEP) を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。

#### ● AES (Advanced Encryption Standard)

米国商務省標準技術局 (NIST) が選定した次世代の暗号化方式。

WEP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

#### お願い

- 暗号化の設定は必ず本機器と無線 LAN 端末 (子機) で同じ設定にしてください。(☛P39、P69)
- 暗号化キーは本機器 1 つにつき 1 つだけ使用します。複数の無線 LAN 端末 (子機) を使用する場合、すべての無線 LAN 端末 (子機) に本機器と同じ暗号化キーを設定してください。
- 本機器を初期化すると、ネットワーク名 (SSID) および暗号化キーの設定は、お届け時の状態 (本機器底面に記載) になります。(☛P39)
- 1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。また、AES、TKIP の暗号化方式をご利用になるには、対応した無線 LAN 端末 (子機) が必要です。

## &lt;暗号化の設定 (本機器) &gt;

本機器の暗号化の設定は、クイック設定 Web で行います。



## お知らせ

●本機器は、お届け時に本機器の底面に記載されている暗号化の設定がされています。(●P39)

## 1 パソコンを起動する

## 2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本機器の IP アドレスを入力しても開きます。

(お届け時は 192.168.0.1 です。)

例 : http://192.168.0.1/

## 3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

## 4 「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」を選択する

## 5 「暗号化」の項目で設定する

■暗号化モードで WPA-PSK (TKIP, AES)、または WPA2-PSK (TKIP, AES) を使用する場合

① [暗号化モード] で使用する暗号化モードを選択する

※セカンダリ SSID の場合は、WPA/WPA2-PSK (TKIP)、WPA/WPA2-PSK (AES) のみ選択できます。

② [WPA 暗号化キー] を入力する

暗号化キーは、8～63 桁の英数記号、または、64 桁の 16 進数で入力します。

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

・ 8～63 桁の場合

英数記号【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%	)	-	:	@	^	
"	&	*	.	<	[	_	}
#	'	+	/	=	\	`	-
\$	(	.	:	>	]	{	

※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

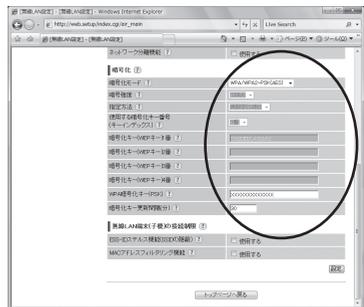
・ 64 桁の場合

16 進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

③ [暗号化キー更新間隔] で暗号化キーの更新間隔 (分) を入力する

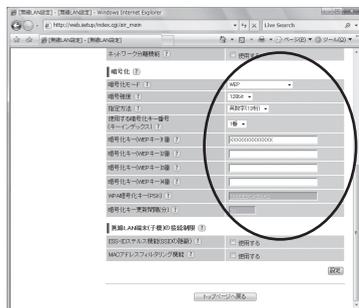
更新時間は、0 (更新なし)、1～1440 分の間で設定できます。



# 5

## ■暗号化モードで WEP を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WEP] を選択する
- ② 暗号強度を [64bit] [128bit] [152bit] から選択し、指定方法を選択する [64bit] (弱) < [128bit] < [152bit] (強) の順で強い暗号がかかります。
- ③ [指定方法] から暗号化キーの種類を [英数字] または [16進] のどちらかを選択する



- ※ [英数字] → 英数字 (0 ~ 9, a ~ z, A ~ Z) の組み合わせで暗号を作成します。
- [16進] → 16進 (0 ~ 9, a ~ f, A ~ F) の組み合わせで暗号を作成します。
- ※ 指定した暗号化強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。

- ④ [使用する暗号化キー番号] を 1 番 ~ 4 番で選択する
- ⑤ 指定した番号 (1 番 ~ 4 番) に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

**【設定】をクリックする**

# 6

**【保存】をクリックする**

暗号化キーを設定していない無線 LAN 端末 (子機) から接続できなくなります。無線 LAN 端末 (子機) の暗号化の設定を行ってください。

## ■ ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名 (SSID) があります。このネットワーク名 (SSID) が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名 (SSID) は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に回答しないようにすることができます。

※本機器独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末 (子機) では、接続できない場合があります。

### < ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽) の設定 (本機器) >

クイック設定 Web で設定します。

# 1

パソコンを起動する

# 2

WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本機器の IP アドレスを入力しても開きます。

(お届け時は 192.168.0.1 です。)

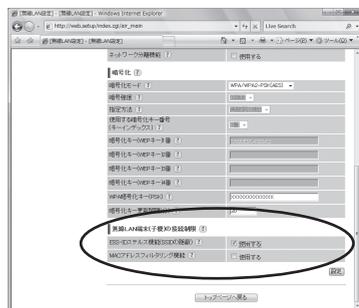
例 : http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」を選択する

5 「無線 LAN 端末 (子機) の接続制限」  
- 「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」を「使用する」にチェックする



6 「設定」をクリックする

7 「OK」をクリックする

8 「保存」をクリックする

## ■ MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された無線 LAN 端末 (子機) とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末 (子機) から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

< MAC アドレスフィルタリング機能を設定する (本機器) >

クイック設定 Web で設定します。

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本機器の IP アドレスを入力しても開きません。

(お届け時は 192.168.0.1 です。)

例 : http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4

## 「無線 LAN 設定」 - 「MAC アドレスフィルタリング」 を選択する

5

「追加」をクリックして、「MAC アドレスフィルタリング エントリ追加」で設定する

### ① 指定方法を選択する

手動設定：MAC アドレスに直接無線接続を許可する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを入力します。

選択設定：MAC アドレス（アクセス履歴）から選択し設定をします。

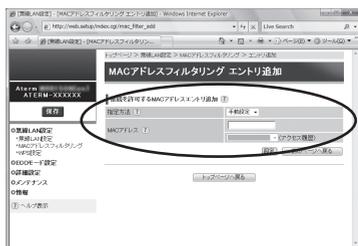
### ② 手動設定の場合は、設定する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを入力する

MAC アドレスは 2 文字ずつコロんで区切って入力してください。

例) MAC アドレスが xx-xx-xx-xx-xx-xx と入力する場合は、xx:xx:xx:xx:xx:xx と入力します。

無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスは無線 LAN 端末（子機）に記載されています。

選択設定の場合は、「アクセス履歴」の中から設定する無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスを選択します。



6

「設定」をクリックする

7

「保存」をクリックする

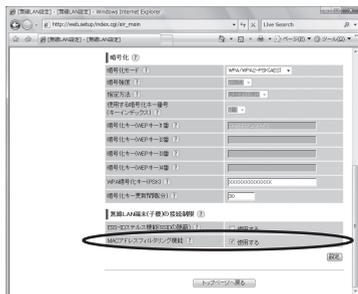
設定内容に間違いがないか確認してください。

8

「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」 を選択する

9

「無線 LAN 端末（子機）の接続制限」 - 「MAC アドレスフィルタリング機能」を「使用する」にチェックする



10

「OK」をクリックする



- 11 [設定] をクリックする
- 12 [OK] をクリックする
- 13 [保存] をクリックする



### 無線 LAN 端末 (子機) として WL54SE2/WL54SE を使用している場合

本機器で MAC アドレスによる接続制限 (MAC アドレスフィルタリング) を行う場合、WL54SE2/WL54SE の無線クライアントモードによって次のように設定してください。  
< WL54SE2/WL54SE の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合 >

WL54SE2/WL54SE の底面に記載されている無線の MAC アドレスを登録することで無線接続する他の無線 LAN 端末 (子機) を制限できます。

< WL54SE2/WL54SE の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合 >

WL54SE2/WL54SE の底面に記載されている無線の MAC アドレスと WL54SE2/WL54SE に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→ WL54SE2/WL54SE では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、LINK ランプが消灯し、WL54SE2/WL54SE に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。(WL54SE2/WL54SE の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。)

なお、既に LINK ランプが点灯している WL54SE2/WL54SE に、MAC アドレスが未登録の端末を接続すると通信できてしまいます。

## ■ネットワーク分離機能

本機器の「クイック設定 Web」へのアクセスおよび本機器の LAN 側に接続されている端末へのアクセスを制限する機能です。(初期値はプライマリ SSID「使用しない」、セカンダリ SSID「使用する」に設定されています。)

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本機器の IP アドレスを入力しても開きません。  
(お届け時は 192.168.0.1 です。)  
例 : http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

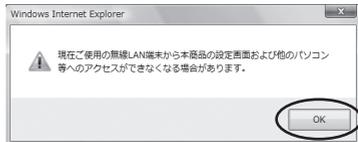
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」を選択する

5 「無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定」 - 「ネットワーク分離機能」を「使用する」にチェックする



6 [OK] をクリックする



7 [設定] をクリックする

8 [OK] をクリックする

9 [保存] をクリックする

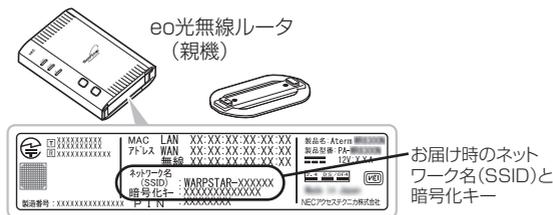
## 📢 お知らせ

- 本機器は、お届け時にセカンダリ SSID 側のネットワーク分離機能の設定が「使用する」にチェックされています。このため、セカンダリ SSID 側に接続された無線 LAN 端末 (子機) はクイック設定 Web、本機器の LAN 側に有線接続した端末へのアクセスはできません。

# 無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する

本機器に無線 LAN 内蔵のゲーム機を接続することができます。

本機器底面に記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。



- ゲーム機の説明書にしたがって内蔵無線を有効にしたら、接続したい本機器のネットワーク名 (SSID) を選択して接続し、本機器の暗号化キーを入力してください。  
※設定の際に画面に出てくる「ネットワークキー」、「パスフレーズ」、「パスワード」とは、暗号化キーのことです。  
※暗号化キーを入力する際、大文字 (ABCDEF) はシフトキーを押しながら入力します。大文字 (ABCDEF) を小文字 (abcdef) で入力すると通信できませんので、ご注意ください。
- ニンテンドー DS (ニンテンドー DS Lite 含む) は WEP へのみ対応しておりますので、ネットワーク名 (SSID) は、セカンダリ SSID \* を選択してください。暗号化キーは、本機器底面に記載されている暗号化キーを設定してください。  
※セカンダリ SSID は、本機器底面に記載されているネットワーク名 (SSID) の末尾に「-W」がついたものです。(暗号化方式は 128bitWEP です)  
なお、ニンテンドー DSi の場合は、AES、TKIP の暗号化方式で接続できる場合があります。詳しくはゲーム機の取扱説明書をご参照ください。
- らくらく無線スタートで設定することもできます。設定可能なゲーム機については、サポートページ (<http://support.eonet.jp/router>) をご確認ください。

## <無線接続できるゲーム機>

- ・ Wii
- ・ ニンテンドー DS (ニンテンドー DS Lite 含む)
- ・ ニンテンドー DSi (ニンテンドー DSi LL 含む)
- ・ 「プレイステーション 3」
- ・ PSP 「プレイステーション・ポータブル」
- ・ Xbox 360

## お知らせ

- ゲーム機のブラウザでクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると\*、クイック設定 Web は表示できません。(P25)  
その場合は、いったん有線で本機器とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度無線接続してください。  
※ニンテンドー DS、らくらく無線スタートで設定した PSP の場合など。

# WPS 機能を使用して無線設定する

本機器は、WPS (Wi-Fi Protected Setup) に対応した無線 LAN の自動設定を行うことができます。

設定するには、無線 LAN 端末 (子機) 側も WPS に対応している必要があります。

※ WPS とは、Wi-Fi Alliance が策定した無線 LAN の接続設定を簡単に行うための規格です。

設定には、以下の方法があります。

● らくらくスタートボタンによる設定 (☛ 下記)

● PIN 方式による設定

→ 本機器の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末 (子機) に設定する場合 (☛ P77)

→ 無線 LAN 端末 (子機) の無線 LAN 設定を本機器に設定する場合 (☛ P79)



## お知らせ

- 本機器で「ESS-ID ステルス機能 (SSID の隠蔽)」が「使用する」になっていると、WPS 機能での設定に失敗します。本機器側の設定を確認してください。
- WPS 機能での設定中は他の無線接続はいったん切断されることがあります。

## らくらくスタートボタンによる設定

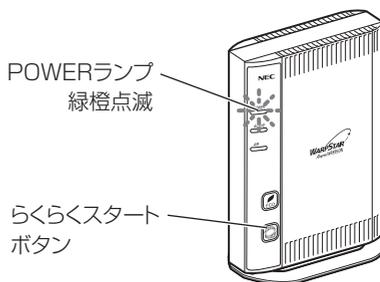
本機器側面にあるらくらくスタートボタンを押すことで、WPS 機能を起動させることができます。設定方法は下記の通りです。

※ 設定の際は、本機器と無線 LAN 端末 (子機) は近くに置いた状態で設定してください。  
(目安: 1m 程度)

### 1 無線 LAN 端末 (子機) の WPS 機能を起動する

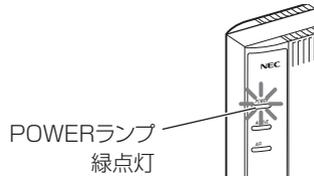
※ 起動方法は、無線 LAN 端末 (子機) に添付の取扱説明書などを参照してください。

### 2 本機器側面のらくらくスタートボタンを押し、側面の POWER ランプが緑橙点滅したら離す



## 3

本機器側面の POWER ランプが緑点灯することを確認する

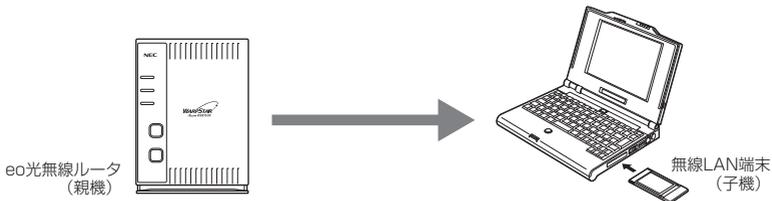


失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点滅します。  
再度手順 1 からやり直しても失敗する場合は、無線 LAN 端末（子機）の取扱説明書などを参照して、本機器のネットワーク名（SSID）と暗号化キーを設定してください。  
※ 本機器のネットワーク名（SSID）と暗号化キーは、本機器の底面のラベルを参照してください。

## PIN 方式による設定

### 本機器の無線 LAN 設定を無線 LAN 端末（子機）に設定する

PIN 方式を使って、本機器の設定を無線 LAN 端末（子機）に設定します。



## 1

いったん LAN ケーブルでパソコンと本機器を接続する

## 2

クイック設定 Web を起動する (▶P36)

## 3

「無線 LAN 設定」 - 「WPS 設定」を選択する

## 4

「PIN 方式」の「使用する」にチェックする

## 5 【WPSの状態】の【Configured】のチェックを入れる



## 6 【無線 LAN 端末の PIN コード】に無線 LAN 端末 (子機) の PIN コードを入力する

※無線 LAN 端末 (子機) の PIN コードは、無線 LAN 端末 (子機) に添付の取扱説明書などをご参照ください。



## 7 【WPS (PIN 方式)】をクリックする



## 8 【OK】をクリックする

※本機器の POWER ランプが緑点滅します。

## 9 パソコンから LAN ケーブルを取り外して、10 秒待つ

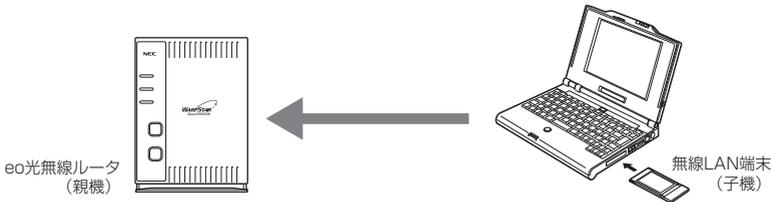
## 10 無線 LAN 端末 (子機) 側で WPS 機能を起動する

※起動方法については、無線 LAN 端末 (子機) に添付の取扱説明書などを参照してください。

※無線設定が完了すると、本機器の POWER ランプが点灯 (約 10 秒間) します。

## 無線 LAN 端末（子機）の無線 LAN 設定を本機器に設定する

PIN 方式を使って、無線 LAN 端末（子機）の設定を本機器に設定します。  
本機器の無線 LAN 設定が変更になり、設定済みの他の無線 LAN 端末から接続できなくなる場合がありますので、ご注意ください。



## お知らせ

- 本機器で「MACアドレスフィルタリング」が「使用する」になっている場合、無線 LAN 端末（子機）の MAC アドレスが登録されていないと、WPS 機能での設定に失敗します。本機器側の設定を確認してください。
- Windows® 7 をご利用の場合、本機器でプライマリ SSID の暗号化モードが「暗号化無効」以外に設定されていると、WPS 機能での設定に失敗する場合があります。

- 1 いったん LAN ケーブルでパソコンと本機器を接続する
- 2 クイック設定 Web を起動する (▶P36)
- 3 「無線 LAN 設定」 - 「WPS 設定」を選択する
- 4 [PIN 方式] の [使用する] にチェックする
- 5 [WPS の状態] の [Configured] のチェックを外す



6

## 本機器の PIN コードを確認する



7

【設定】をクリックし、【保存】をクリックする

8

パソコンから LAN ケーブルを取り外して、10 秒待つ

9

無線 LAN 端末（子機）側に本機器の PIN コードを入力する

※本機器の PIN コードは、上記画面の [無線 LAN アクセスポイントの PIN コード] に記載されています。

10

無線 LAN 端末（子機）側で WPS 機能を起動する

※起動方法については、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書などを参照してください。

※無線設定が開始されると、本機器の POWER ランプが緑点滅します。

※無線設定が完了すると、本機器の POWER ランプが点灯（約 10 秒間）します。

# ECO モードにする

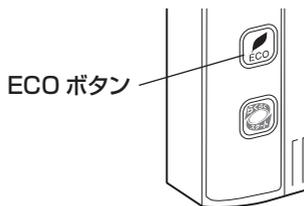
ECO モードでは、一部の機能を制限することで消費電力を抑えることができます。ECO ボタンは、お届け時で無効（ECO モードに起動できない状態）になっています。ECO ボタンを有効にする場合は、クイック設定 Web で設定してください。詳しくは「機能詳細ガイド」（●P27）を参照してください。

## ECO モードでの制限内容

- 無線 LAN 通信が停止される。
- PC ポートの通信速度が 10Mbps で動作する。  
（WAN ポートの通信速度は変わりません。）

## ECO モードを起動する

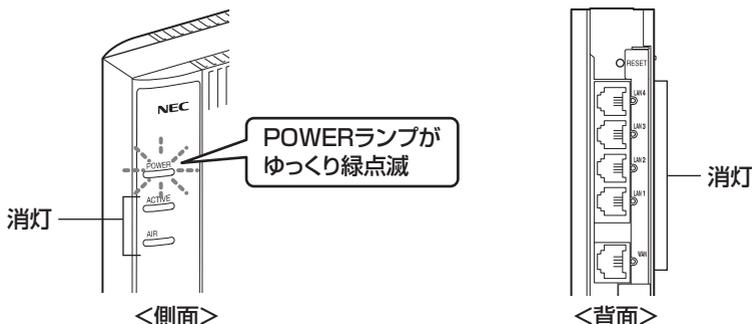
ECO モードを起動するには、本機器側面の ECO ボタンを 5 秒以上押します。（停止する場合は、再度、ECO ボタンを 5 秒以上押してください。通常モードに戻ります。）



誤ってらくらくスタートボタンを押さないようご注意ください。  
らくらくスタートボタンを押すと、らくらく無線スタートが起動してしまい、POWER ランプが緑点滅したあと 10 秒間赤点灯します。その後 POWER ランプが緑点灯に戻ったら、ECO モードを正しく起動してください。

## ECO モード起動中のランプ状態

ECO モードでは、本機器側面の POWER ランプがゆっくり緑点滅し、他のランプはすべて消灯します。(背面の WAN ランプ、LAN ランプも消灯します。)



### お知らせ

- ECO モードを起動すると、PC ポートの通信速度が変わるため、リンクが一時的に切断されます。通信中の場合はご注意ください。
- あらかじめ起動／停止時刻を設定すれば、自動的に ECO モードを切り替えることができます。設定方法は下記の通りです。詳細は、「機能詳細ガイド」(P27) を参照してください。

- ① クイック設定Webを起動して(●P36)、「ECO モード設定」- [ECOモード設定] を選択する
- ② [ECO機能] の「使用する」にチェックを入れる
- ③ [タイマ動作] の「使用する」にチェックを入れる
- ④ ECOモードの起動／停止時刻を設定する  
(画面は、午前2時から午前5時までECOモードにする場合の例です。)

ECOモード設定 ?	
ECO機能 ?	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
タイマ動作 ?	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
ECOモード起動時刻 ?	02 時 00 分
ECOモード停止時刻 ?	05 時 00 分



- ⑤ [設定] をクリックする
- ⑥ [保存] をクリックする

- らくらく無線スタート設定時に誤って ECO ボタンを押してしまうと、ECO モードが起動し、無線 LAN 通信が利用できなくなってしまうのでご注意ください。(ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。) その場合は、再度 ECO ボタンを 5 秒以上押し、ECO モードを停止させてください。(本機器の電源をいったん切って入れ直しても通常モードに戻すことができます。)

# 本機器の初期化

初期化とは、本機器に設定した内容を消去してお届け時の状態に戻すことをいいます。対処をしても問題が解決しない場合は、本機器を初期化することをお勧めします。いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、お届け時の状態に戻りますのでご注意ください。

初期化する前に必要に応じて本機器の設定内容を保存しておくことができます。

保存・復元の方法は、「機能詳細ガイド」(●P27)を参照してください。

なお、初期化を行っても、設置後にバージョンアップされた本機器のファームウェアはそのままです。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

## RESET スイッチで初期化する

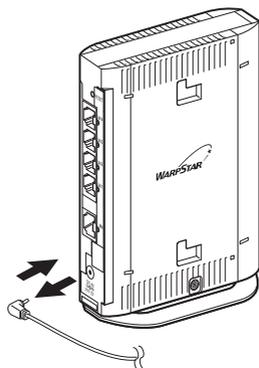
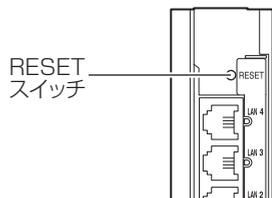
本機器の RESET スイッチを使って初期化を行います。RESET スイッチは、背面にあります。

1 本機器の電源が入っていることを確認する

2 本機器の背面にある RESET スイッチを細い棒状のもの(つまようじなど電気を通さない材質のもの)で押し続け、POWER ランプが赤点滅を始めたら離す

POWER ランプが赤点滅するまで約6秒～10秒かかります。

3 本機器から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10秒ほど待ってから、再び差し込む



## クイック設定 Web で初期化する

1 パソコンを起動する

2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く

本機器の IP アドレスを入力しても開きます。(お届け時は 192.168.0.1 です)  
例 : http://192.168.0.1/

3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

4 「メンテナンス」 - 【設定値の初期化】を選択する

5 【設定値の初期化】をクリックする



6 [OK] をクリックする  
本機器が再起動します。

### お願い

- 本機器の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
- 本機器は、お届け時に、ネットワーク名 (SSID)、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名 (SSID)、暗号化キーの設定もお届け時の設定 (本機器の底面に記載) になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線 LAN 端末 (子機) から接続できなくなる場合があります。その場合は、本機器の設定を変更するか、無線 LAN 端末 (子機) の暗号化設定もお届け時の状態 (本機器の底面に記載) に戻してください。(●P39)

# トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、本機器を初期化し、(●P83) 初めから設定し直してみてください。

ただし、初期化を行うと本機器のすべての設定がお届け時の状態に戻りますのでご注意ください。なお、初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。

(→クイック設定 Web の「メンテナンス」 - [設定値の保存&復元] にて保存できます。)

- ・ 設定に関するトラブル (● 下記)
- ・ 無線 LAN に関するトラブル (●P90)
- ・ ご利用開始後のトラブル (●P94)

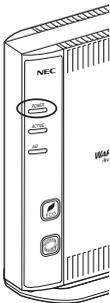
## 設定に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

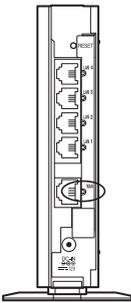
本機器側面の POWER ランプは緑点灯していますか？※	→いいえ (a 参照 ●P86)
↓はい	
本機器背面の WAN ランプは緑点灯していますか？※	→いいえ (b 参照 ●P86)
↓はい	
パソコンに IP アドレスが設定されていますか？	→いいえ (c 参照 ●P87)
↓はい	
設定後、本機器側面の ACTIVE ランプが緑点灯していますか？※	→いいえ (d 参照 ●P88)
↓はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ (e 参照 ●P89)

※ ECO モード起動中は、POWER ランプは緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。(●P82)

## a. 本機器側面の POWER ランプが緑点灯しない

現象	原因と対策
POWER ランプが緑点灯しない 	電源が入っていません。 ● AC アダプタが外れている → AC アダプタを電源コンセントに差し込んでください。 ● AC アダプタがパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている → 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると本機器に供給されている電源も切れてしまいます。 ● AC アダプタが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタをコンセントから外して eo サポートダイヤルへお問い合わせください。(☎P102) ● 本機器の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあげてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

## b. 本機器背面の WAN ランプが緑点灯しない

現象	原因と対策
WAN ランプが緑点灯しない 	● 回線終端装置 / VDSL モデムの電源が入っていない → 回線終端装置 / VDSL モデムの電源を入れて、正しく回線の LINK が確立できていることを確認してください。 ● 本機器の WAN ポートが回線終端装置 / VDSL モデム / 情報コンセントなどに LAN ケーブルで正しく接続されているか確認してください。 WAN ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ● ECO モードを起動している → ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。 ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押ししてください。 ● LAN ケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「LAN ケーブル (カテゴリ 5)」であることを確認してください。 ● 本機器の WAN ポートと本機器の PC ポートを添付の LAN ケーブルで接続してみる。 背面の WAN ランプが緑点灯する場合 本機器は、問題ありません。 回線終端装置 / VDSL モデムの故障が考えられます。 緑点灯しない場合 本機器を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は本機器の故障が考えられます。 eo サポートダイヤルへお問い合わせください。(☎P102)

c. パソコンに IP アドレスが設定されていない

現象	原因と対策
<p>パソコンの IP アドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない</p>	<p>● パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本機器の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <p>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、次の手順で IP アドレスを確認する</p> <p><b>&lt; IP アドレスの確認方法 &gt;</b></p> <p>&lt; Windows Vista®/Windows® 7 の場合 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする</li> <li>② 「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押す</li> <li>③ IP v4 アドレスが「192.168.0.XXX」(または「192.168.1.XXX」)になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</li> </ol> <p>&lt; Windows® XP/2000 Professional の場合 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする</li> <li>② 「ipconfig」と入力して [Enter] キーを押す</li> <li>③ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」(または「192.168.1.XXX」)になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</li> </ol> <p>&lt; Mac OS X の場合 &gt;</p> <p>以下は Mac OS X v10.4 の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する</li> <li>② [表示] を [AirMac] にして、[TCP/IP] タブをクリックする</li> <li>③ IP アドレスが「192.168.0.XXX」(または「192.168.1.XXX」)になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</li> </ol> <p>b. 次の手順で IP アドレスを取り直す</p> <p><b>&lt; IP アドレスの再取得 &gt;</b></p> <p>&lt; Windows Vista®/Windows® 7 の場合 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする</li> <li>② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックする</li> <li>③ 「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する</li> <li>④ 「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す</li> <li>⑤ IP v4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</li> </ol>

現象	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない(続き)	<p>&lt; Windows® XP/2000 Professional の場合 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート] - [すべてのプログラム] (または [プログラム]) - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする</li> <li>② 「ipconfig /release」と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する</li> <li>③ 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す</li> <li>④ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</li> </ol> <p>&lt; Mac OS X の場合 &gt;</p> <p>以下は Mac OS X v10.4 の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する</li> <li>② [表示] で [ネットワークポート設定] を選択し、[AirMac] のチェックを外して、[今すぐ適用] をクリックする</li> <li>③ [AirMac] のチェックを入れて、[今すぐ適用] をクリックする</li> <li>④ [表示] を [AirMac] にして、[TCP/IP] タブをクリックし、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</li> </ol>

#### d. 本機器側面の ACTIVE ランプが緑点灯しない

現象	原因と対策
ACTIVE ランプが 5 分以上速い橙点滅し続けている	● 設定に失敗しています。 設定環境が整っていないことが考えられます。 本機器の電源を切り、再度「つなぎかたガイド」を参照して接続・設定をやり直してください。
ACTIVE ランプが緑赤点滅をしている	● 設定が失敗しました。 サービス提供上の問題が発生しています。 eo サポートダイヤルへお問い合わせください。(☎P102)
ACTIVE ランプが赤点滅をしている	● 設定が失敗しました。 サービス提供上の問題が発生しています。 eo サポートダイヤルへお問い合わせください。(☎P102)
ACTIVE ランプが速い緑点滅をしている	● 回線終端装置 / VDSL モデム / 情報コンセントなどの WAN 側が接続されていることを確認してください。VDSL をご使用の場合、リンクが確立していることを確認してください。
ACTIVE ランプが遅い緑点滅、速い緑点滅を繰り返し返している	● eo サポートダイヤルへお問い合わせください。(☎P102)
ACTIVE ランプが消灯している	<p>● WAN ポートが接続されていないことが考えられます。WAN ポートの接続を確認してください。</p> <p>● ECO モードを起動している → ECO モード起動中は、POWER ランプのみゆっくり緑点滅し、他の側面・背面のランプは消灯します。 ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押し続けてください。</p>

e. インターネットに接続できない

現象	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>● WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない → パソコンの「インターネットのプロパティ」の [接続] で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。(●P31)</li> </ul>
接続できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「eo 接続ツール」などの PPPoE 接続専用ソフトを、パソコンに入れたまま使用していませんか。または、Windows® の PPPoE 機能を使用していませんか。 → 本機器を利用する場合は「eo 接続ツール」などの PPPoE 接続専用ソフトまたは Windows® の PPPoE 機能は使用しないでください。インターネット接続の設定は本機器の「つなぎかたガイド」を参照してください。</li> <li>● インターネット接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、本機器の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。</li> </ul>
接続に成功してもホームページが開けない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● eo サポートダイヤルへお問い合わせください。(●P102)</li> </ul>

## 無線 LAN に関するトラブル

現象	原因と対策
<p>接続する無線動作モードのネットワーク名 (SSID) を忘れてしまった</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PC ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」－ [無線 LAN 設定] で設定し直してください。</li> <li>● Aterm シリーズの無線 LAN 端末 (子機) をご利用の場合は、サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で [スキャン] をクリックして本機器を検索してください。ネットワーク名 (SSID) で本機器を識別できます。</li> <li>● 本機器背面の RESET スイッチによる初期化 (お届け時に戻す) をしてください。(●P83) お届け時のネットワーク名 (SSID) の設定は本機器の底面に記載されています。(●P39)</li> </ul>
<p>接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● PC ポートに有線で接続したパソコンから、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」－ [無線 LAN 設定] で設定を確認してください。(「機能詳細ガイド」(●P27))</li> <li>● 本機器背面の RESET スイッチによる初期化 (お届け時状態に戻す) をしてください。(●P83) お届け時の暗号化キーは本機器の底面に記載されています。(●P39)</li> </ul>
<p>らくらく無線スタート／らくらく無線スタート EX が成功しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機器の電源が ON になっていることを確認する → OFF になっていたら ON にしてください。 本機器の無線 LAN モード設定が、無線 LAN 端末 (子機) の通信可能なモードに対応していることを確認してください。</li> <li>● 本機器のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている → らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点減状態になったらいったん離します。「つなぎかたガイド」などの手順にしたがってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。</li> <li>● 本機器の ECO ボタンを押してしまった → ECO ボタンを有効にしている場合、誤って ECO ボタンを押してしまうと、ECO モードが起動し、無線 LAN 通信が利用できなくなります。(ECO モード起動中は POWER ランプのみゆっくり緑点減し、他の側面・背面のランプは消灯します。) ECO モードを停止する場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押しってください。</li> <li>● ドライバが正しく入っていない → 詳細は、ご利用の無線 LAN 端末 (子機) のメーカーにお問い合わせください。</li> <li>● らくらく無線スタート EX が正しくインストールされていない → 添付の CD-ROM (ユーティリティ集)、またはサポートページ (<a href="http://support.eonet.ne.jp/router/">http://support.eonet.ne.jp/router/</a>) から最新のらくらく無線スタート EX をダウンロードしてインストールしてください。(●「つなぎかたガイド」)</li> <li>● 本機器の暗号化が解除されている → 本機器の暗号化設定を行ってください。(●P69)</li> <li>● 本機器の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている → その場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。(「機能詳細ガイド」(●P27))</li> </ul>

現象	原因と対策
<p>らくらく無線スタート／らくらく無線スタートEXが成功しない (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している → 設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。</li> <li>● パソコンに設定された固定 IP アドレスが本機器のネットワーク体系とあっていない → パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。(●P29)</li> <li>● Aterm シリーズの無線 LAN 端末 (子機) をご利用の場合、古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている → 古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールし、らくらく無線スタート対応のユーティリティをインストールし直してから行ってください。</li> <li>● 無線 LAN 端末 (子機) のほかにネットワークデバイス (ETHERNET ボードなど) が動作している → ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンの場合 LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。</li> <li>● らくらく無線スタート EX の場合、無線 LAN 端末 (子機) 専用の設定ユーティリティなどが動作している → 無線 LAN 端末 (子機) 専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。</li> <li>● 本機器と無線 LAN 端末 (子機) で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない → 本機器に無線 LAN 端末 (子機) で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。AES または 128bitWEP に対応していない無線 LAN 端末 (子機) を利用する場合、本機器の設定を変更する必要があります。</li> <li>● どうしても設定できない場合は、「Windows® のワイヤレスネットワーク接続で設定する場合」(●P42) で設定してください。</li> </ul>
<p>本機器に接続できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ECO モードを起動している → ECO モード起動中は、無線 LAN 通信が利用できません。(ECO モード起動中は POWER ランプのみゆっくり緑点減し、他の側面・背面のランプは消灯します。) 無線 LAN 通信をご利用になる場合は、ECO ボタンを 5 秒以上押し、ECO モードを停止してください。</li> <li>● 暗号化キーの設定が本機器と無線 LAN 端末 (子機) とで一致しているかを確認してください。(●P39、P69)</li> </ul>

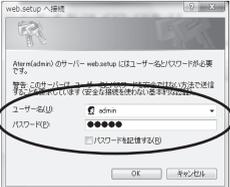
現象	原因と対策
<p>本機器に接続できない (つづき)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり通信が正常に行えない場合があります。 →ファイアウォールなどの動きによって本機器との通信に必要なポートが止められてしまっている場合があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 ①ファイアウォールソフト側で本機器との通信に必要なポートをあける (アドレス: 192.168.0.*、TCP ポート番号: 23/53/75/80、UDP ポート番号: 69/161)</li> <li>②①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ※セキュリティソフトの停止は、お客様自身の責任において実施してください。</li> <li>●「らくらく無線スタート/らくらく無線スタートEX が成功しない」(P90) も参照してください。</li> <li>●無線 LAN 端末 (子機) のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 いったんドライバとユーティリティ (Windows® XP/2000 Professional の場合はドライバ) を削除してから、もう一度ドライバとユーティリティ (Windows® XP/ 2000 Professional の場合はドライバ) をインストールしてください。</li> </ul>
<p>本機器と無線 LAN 端末 (子機) の電波状態が悪い</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●電波の届く範囲まで無線 LAN 端末 (子機) を移動したり、本機器と無線 LAN 端末 (子機) の向きを変えたりして電波状態を確認してください。</li> </ul>
<p>無線状態が良好なのに、通信できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●〈IP アドレスの再取得〉(P87) を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。</li> <li>●固定 IP アドレスでお使いの場合は、本機器と無線 LAN 端末 (子機) に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 (例: 本機器が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末 (子機) は 192.168.0.X)</li> <li>●他の LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停止させてください。</li> </ul>
<p>無線状態が良好なのに、速度がでない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●近くに隣接する無線チャンネルを使っている人がいる、または「チャンネル状況表示」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetooth などの電波を放射する装置で電波干渉がある。 →Aterm シリーズの無線 LAN 端末 (子機) をご利用の場合は、サテライトマネージャ [プロパティ] - [状態] の「チャンネル状況表示」で使用しているチャンネルを確認し、クイック設定 Web で使用する無線チャンネルの番号を変更してください。 →クイック設定 Web を起動して「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 設定」の「無線 LAN アクセスポイント (親機) 設定」の「無線動作モード」で [標準 (2.4GHz)] を選択し、[使用チャンネル] の番号を変更します。(設定値 1~7) 設定値の目安として、他の無線設備が使用しているチャンネルから 4 チャンネル以上ずらすようにしてください。</li> <li>●本機器と無線 LAN 端末 (子機) が近すぎる →1m 以上離してください。 →Aterm シリーズの無線 LAN 端末 (子機) をご利用の場合はサテライトマネージャで「送信出力」を下げてみてください。 その場合、遠くにある無線 LAN 端末 (子機) から接続しにくくなります。</li> </ul>



## ご利用開始後のトラブル

### ●クイック設定 Web に関する問題

#### ・WWW ブラウザで設定画面が表示されない（クイック設定 Web が起動しない）

現象	原因と対策
<p>WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクイック設定 Web が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 本機器の IP アドレスがお届け時の場合は「http://192.168.0.1/」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。</li> <li>●お使いのパソコンにプロキシの設定をしていませんか。 →プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「web.setup」を入れる</li> <li>●お使いのパソコンにファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、(パソコンによっては、あらかじめインストールされている場合があります。) 本機器の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本機器の設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。インターネットに接続できたら、もう一度必要な設定を行ってください。停止や設定の方法はソフトによって異なりますので、ソフトまたはパソコンのメーカーにお問い合わせください。 ※セキュリティソフトの停止は、お客様自身の責任において実施してください。</li> <li>●無線接続してクイック設定 Web を表示させる場合、セカンダリ SSID に無線接続していると※、クイック設定 Web は表示できません。(☛P25) その場合は、いったん有線で本機器とパソコンを接続して、クイック設定 Web を表示してください。設定が終わったら、再度無線接続してください。 ※AES に対応していない無線 LAN 端末 (子機) から無線接続する場合など。</li> </ul>
<p>WWW ブラウザで本機器にアクセスすると、ユーザー名とパスワードを要求される</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>●WWW ブラウザで本機器にアクセスすると、ユーザー名とパスワードを要求されます。 →ユーザー名には、[admin] を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで本機器に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。</li> </ul>
<p>クイック設定 Web が開かない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●JavaScript を無効に設定している。 →WWW ブラウザの設定で JavaScript を有効に設定してください。(☛P32)</li> <li>●PC ポートにパソコンを接続している場合は、IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。 →パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(☛P29)</li> </ul>

・クイック設定 Web の操作ができない

現象	原因と対策
<p>管理者パスワードを忘れてしまった</p>	<p>●本機器をお届け時の状態に初期化してください。(●P83)          →この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。          ただし、クイック設定 Web の「メンテナンス」－ [設定値の保存&amp;復元] で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復旧させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。保存方法については、「機能詳細ガイド」(●P27)を参照してください。</p>
<p>使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.XXX は、ハードウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された</p>	<p>● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、他のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。</p> <p>&lt; IP アドレスの再取得 &gt;</p> <p>&lt; Windows Vista®/Windows® 7 の場合 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート] (Windows® のロゴボタン)－ [すべてのプログラム]－ [アクセサリ]－ [コマンドプロンプト] を右クリックし、[管理者として実行] をクリックする</li> <li>② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] または [はい] をクリックする</li> <li>③ ipconfig /release と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する</li> <li>④ ipconfig /renew と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す</li> <li>⑤ IPv4 アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</li> </ol> <p>&lt; Windows® XP/2000 Professional の場合 &gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① [スタート]－ [すべてのプログラム] (または [プログラム])－ [アクセサリ]－ [コマンドプロンプト] をクリックする</li> <li>② ipconfig /release と入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを解放する</li> <li>③ ipconfig /renew を入力して [Enter] キーを押し、IP アドレスを取り直す</li> <li>④ IP アドレス (IP Address) が「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</li> </ol> <p>&lt; Mac OS X の場合 &gt;</p> <p>以下は Mac OS X v10.4 の場合の例です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① アップルメニューの [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択する</li> <li>② [表示] で [ネットワークポート設定] を選択し、[AirMac] のチェックを外して、[今すぐ適用] をクリックする</li> <li>③ [AirMac] のチェックを入れて、[今すぐ適用] をクリックする</li> <li>④ [表示] を [AirMac] にして、[TCP/IP] タブをクリックし、IP アドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する (XXX は 1 を除く任意の数字)</li> </ol>

現象	原因と対策
<p>前回はできたのにインターネット接続ができない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機器の電源を切ったあと、すぐに電源を入れしないでください。 → 電源を切ったあとは、10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。</li> <li>● パソコンに IP アドレスが自動取得されていません。 → IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本機器の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で取得してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる（起動後、P87 の「IP アドレスの確認方法」を参照して再度パソコンの IP アドレスを確認する。）</li> <li>b. 前ページの【IP アドレスの再取得】を行う</li> </ul> </li> </ul>
<p>本機器が正常に動作しないが、原因がわからない</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、本機器を初期化してお届け時の状態に戻し、最初から設定し直してください。（☛P83）</li> </ul>
<p>本機器のバージョンを確認したい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● クイック設定 Web の「情報」－ [現在の状態] の [ファームウェアバージョン] で確認できます。</li> </ul>

# 製品仕様

## ハードウェア仕様

項目		諸元および機能		備考
WAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュージャック (RJ-45) × 1ポート		
	インタフェース	WANポート 100BASE-TX/10BASE-T		Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps		
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重		
LAN インタ フェース	物理 インタフェース	8ピンモジュージャック (RJ-45) × 4ポート		スイッチング HUB × 4ポート
	インタフェース	100BASE-TX/10BASE-T		Auto MDI/MDI-X 対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps		
	全二重 / 半二重	全二重 / 半二重		
無線 LAN インタ フェース	IEEE802.11n	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) / 1 ~ 13ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 [HT20] 56、[HT40] 114 MIMO (空間多重) 方式	
		伝送速度 * 1	2.4GHz 帯 [HT20] * 2 130/117/104/78/52/39/26/19.5/ 13Mbps (自動フォールバック) 2.4GHz 帯 [HT40] * 2 300/270/243/216/162/108/81/54/ 40.5/27/13.5Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11b	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) / 1 ~ 13ch	
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式	
		伝送速度 * 1	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)	
	IEEE802.11g	周波数帯域 / チャンネル	2.4GHz 帯 (2,400-2,484MHz) / 1 ~ 13ch	
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式 / 搬送波数 52	
		伝送速度 * 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)	
	アンテナ	送信 2 × 受信 2 (内蔵アンテナ)		
	セキュリティ	SSID、MAC アドレスフィルタリング、ネットワーク分離機能、 WEP (152/128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)、 WPA2-PSK (TKIP、AES) ※ IEEE802.11n では WPA-PSK (AES)、WPA2-PSK (AES) のみの対応		

項目		諸元および機能	備考
ヒューマンインタフェース	状態表示ランプ	POWER	電源通電時点灯
		ACTIVE	ネット通信確立時点灯 * 3
		AIR	2.4GHz モード時緑点灯、2.4GHz データ送受信時緑点滅 * 3
		WAN	リンク確立時点灯、データ送受信時点滅 * 3
		LAN1 ~ 4	リンク確立時点灯、データ送受信時点滅 * 3
	スイッチ	ECO ボタン × 1 らくらくスタートボタン × 1 RESET スイッチ × 1	
動作保証環境		温度 0 ~ 40℃ 湿度 10 ~ 90%	結露しないこと
外形寸法		約 35 (W) × 128 (D) × 160 (H) mm	突起部除く
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	AC アダプタ使用
消費電力		6.0W (最大)	
質量 (本体のみ)		約 0.3kg	AC アダプタを除く
VCCI		VCCI クラス B	

- \* 1 : 規格による理論上の速度であり、ご利用環境や接続機器などにより実際のデータ通信速度は異なります。
- \* 2 : ご利用環境によっては、HT40/HT20 モードが自動で切り替わるため、デュアルチャネルを「使用する」に設定しても、HT20 で接続される場合があります。
- \* 3 : ECO モード起動中は消灯します。



■ご自宅・周辺環境	
●住居形態	
1. 一軒家 ( ) 階建    2. 集合住宅 (アパート・マンション・UR 賃貸住宅) ( ) 階	
●周辺環境 (ご自宅のお近くにある該当するものすべてに○をつけてください。)	
1. 鉄道                      2. 高速・高架道路            3. 大きな河川・湖            4. 高圧送電線	
5. 電波塔・アンテナ        6. 放送局                      7. 工場                          8. 空港	
9. 自衛隊・米軍基地        10. その他 (                      )	
●宅内環境 (本機器設置周辺の電源を利用している状況を確認してください。)	
a. 本機器の 1 m 以内にノイズ源がある (冷蔵庫、電子レンジ、TV、ステレオなど)	はい・いいえ
b. 本機器をパソコンの上に乗せている	はい・いいえ
c. 本機器の電源をたこ足配線できている	はい・いいえ
d. 本機器の周囲に電源タップがある	はい・いいえ
e. その他	

状況確認シートにもご記入をお願いいたします。

●接続状況確認シート

お問い合わせいただく前に、ご記入ください。

■本機器のランプの点灯／点滅状況	
各ランプの機能については 17 ページを参照してください。	
●側面	
POWER	緑点灯、緑点滅、遅い緑点滅、緑橙点滅、橙点灯、橙点滅、赤点灯、赤点滅、消灯
ACTIVE	緑点灯、遅い緑点滅、速い緑点滅、橙点灯、遅い橙点滅、速い橙点滅、赤点滅、緑赤点滅、消灯
AIR	緑点灯、速い緑点滅、消灯
●背面	
LAN1 ～ 4	緑点灯、緑点滅、消灯
WAN	緑点灯、緑点滅、消灯
■その他（ハブ、無線 LAN などで複数台のパソコンを接続している方のみお答えください。）	
●ハブなどを取り除き、1 台のみで接続して状況は改善しましたか？	はい・いいえ
●その他、ご質問などございましたらご記入ください。（お困りになっていることなど）	

# お問い合わせ

## お問い合わせについて

接続ができない、うまく設定ができない場合は、本書の「トラブルシューティング」をご参照のうえ、下記の eo サポートダイヤルへお問い合わせください。

- パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- 回線接続の条件などについてのお問い合わせは、下記の eo サポートダイヤルへお願いいたします。

## eo 光ネットに関するお問い合わせ

### ● eo サポートダイヤル

お問い合わせ受付時間：年中無休 9:00～21:00

**151** (eo 光電話から)

 **0120-919-151** (携帯電話・PHS からもご利用いただけます)

**050-7105-6333** (eo-net フォン・他社 IP 電話から)

※ eo 光ネット登録証に記載されておりますお客さま ID をご確認のうえ、eo サポートダイヤルへお問い合わせください。  
電話番号をよくお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

※ お問い合わせいただきました内容は、お客様対応の品質の維持・向上のため録音させていただいております。

● ホームページ <http://support.eonet.jp/>

## 本機器の輸送時のお取扱いについて

故障やレンタルの解約などで、本機器を返却する際には、本機器一式（添付品含む）をお送りください。また、輸送時の破損を防ぐために、本機器の箱・梱包材をご使用いただくか、またはエアキャップなどの緩衝材に梱包してください。

# MEMO

# MEMO

# MEMO

# MEMO

## ■本機器で使用しているソフトウェアについて

本機器は、セキュリティ確保のため、自動設定時に通信を暗号化しています。

通信の暗号化には、OpenSSL プロジェクトで作成された OpenSSL Toolkit ソフトウェアを使用しています。

OpenSSL Toolkit ソフトウェアは世界で広く使用されており、ライセンス規約を順守することによって無料で使用できます。

以下に OpenSSL Toolkit のライセンス規約（原文）を記載します。

なお、本機器のマニュアルなどで記載されている通常の使用においては、ライセンス規約に違反することはありません。

### OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2003 The OpenSSL Project. All rights reserved.

---

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact [openssl-core@openssl.org](mailto:openssl-core@openssl.org).
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:  
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OPENSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---

This product includes cryptographic software written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)). This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

### Original SSL/ey License

Copyright© 1995-1998 Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com))

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com)).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,

lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com)).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:  
"This product includes cryptographic software written by Eric Young ([ey@cryptsoft.com](mailto:ey@cryptsoft.com))" The word "cryptographic" can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:  
"This product includes software written by Tim Hudson ([tjh@cryptsoft.com](mailto:tjh@cryptsoft.com))"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed, i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence (including the GNU Public Licence.)

### WIDE Project

Copyright© 1995-1997 Akihiro Tominaga

Copyright© 1995-1997 WIDE Project

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation is hereby granted, provided the following conditions are satisfied.

1. Both the copyright notice and this permission notice appear in all copies of the software, derivative works or modified versions, and any portions thereof, and that both notices appear in supporting documentation.
2. All advertising, materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:  
This product includes software developed by WIDE Project and its contributors.
3. Neither the name of WIDE Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE DEVELOPER "AS IS" AND WIDE PROJECT DISCLAIMS ANY LIABILITY OF ANY KIND FOR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE USE OF THIS SOFTWARE. ALSO, THERE IS NO WARRANTY IMPLIED OR OTHERWISE, NOR IS SUPPORT PROVIDED.

## 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成部品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、eo サポートダイヤル（☎P102）へご連絡ください。

### ● 構成部品

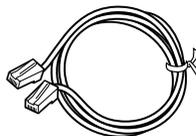
eo 光無線ルータ  
WR8150N(eo)



スタンド



LAN ケーブル  
(カテゴリ 5e ストレート)



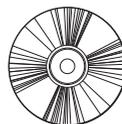
AC アダプタ



ご利用ガイド (本書)



CD-ROM  
(ユーティリティ集)



### お願い

- ・ パソコンの設置や操作方法などについてのお問い合わせは、各パソコンのサポートセンターなどへお願いいたします。
- ・ 回線接続の条件などについてのお問い合わせは、eo サポートダイヤル（☎P102）へお願いいたします。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

